

WD SmartWare™ ソフトウェア

ユーザーマニュアル

バージョン 2.4.x



WD サービスとサポート

万が一製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社までお問い合わせをお願いいたします。テクニカルサポートに関するご質問の多くは、弊社のナレッジベースまたはメールでのサポートサービス (<http://support.wd.com>) でお答えすることができます。回答が得られない場合、またご希望によっては、下記の電話番号にて WD® までお問い合わせください。

お客様の製品には、保証期間中、30日の無料電話サポートが含まれています。この30日間は弊社のテクニカルサポートに最初にお電話された日付から始まります。メールによるサポートは保証期間中無料です。また、弊社のナレッジベースは年中無休でご利用いただけます。お客様に常に最新の機能とサービスを提供できますよう、<http://register.wd.com> よりオンライン製品登録をお願いいたします。

オンラインサポートアクセス

製品サポート Web サイト <http://support.wd.com> にアクセスし、次のトピックから選択してください。

- **ダウンロード** - お使いの WD 製品のドライバ、ソフトウェア、およびアップデートをダウンロードすることができます
- **登録** - 最新のアップデートおよび特別な提供を入手されるためにお使いの WD 製品を登録してください
- **保証および RMA サービス** - 保証、製品交換 (RMA)、RMA ステータス、および日付取得情報を確認することができます
- **ナレッジベース** - キーワード、フレーズ、または回答 ID で検索することができます
- **インストール** - WD 製品やソフトウェアのオンラインインストールヘルプを確認することができます
- **WD コミュニティ** - 他の WD ユーザーと意見を共有したり、接続したりします。

テクニカルサポートへのお問い合わせ

WD テクニカルサポートへのお問い合わせの際には、WD 製品のシリアル番号、システムハードウェア、およびシステムソフトウェアのバージョンをお尋ねいたしますので、あらかじめご確認ください。

北米		ヨーロッパ (通信料無料)*	00800 ASK4 WDEU
英語	800.ASK.4WDC (800.275.4932)	ヨーロッパ	(00800 27549338)
スペイン	800.832.4778	中東	+31 880062100
メキシコ	001 8002754932	アフリカ	+31 880062100
		ロシア	8 10 8002 335 5011
南米		アジア太平洋	
チリ	1230 020 5871	オーストラリア	1800 42 9861 / +800 2275 4932
コロンビア	009 800 83247788	中国	800 820 6682
ベネズエラ	0800 100 2855	香港	+800 6008 6008
ペルー	0800 54003	インド	1800 419 5591 / 1800 200 5789
ウルグアイ	000 413 598 3787	インドネシア	+803 852 9439
アルゼンチン	0800 4440839	日本	00531 65 0442 / 0120 994 120
ブラジル	0800 7704932	韓国	02 703 6550
	0021 800 83247788	マレーシア	1800 88 1908 / +800 6008 6008 (Telekom Malaysia)
		ニュージーランド	0508 555 639 / +800 2275 4932
		フィリピン	1 800 1441 0159
		シンガポール	1800 608 6008 / +800 6008 6008 (Singtel)
		台湾	0800 666 290 / +800 6008 6008 (Chunghwa)
		タイ	001 800 441 0570

* 通信料無料番号は以下の国で利用可能です。オーストラリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、英国

目次

WD サービスとサポート	ii
オンラインサポートアクセス	ii
テクニカルサポートへのお問い合わせ	ii
1 WD SmartWare ソフトウェアについて	1
オペレーティングシステムの互換性	1
WD 製ハードディスクドライブへの対応	2
WD 製以外のデバイスへの対応	3
クラウドサービスへの対応	3
機能概要	3
[ホーム] タブ画面	4
[バックアップ] タブ画面	11
[復元] タブ画面	15
[設定] タブ画面	17
[ヘルプ] タブ画面	20
2 ソフトウェアのインストールと作業の開始	22
WD SmartWare ソフトウェアのインストール	22
作業の開始 - 最初のバックアップ	25
作業の開始 - 初期のドライブ設定	30
3 WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレード	32
アップグレード作業の開始	32
無料お試し版	33
アクティベーションコードの購入	35
WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードのアクティブ化	36
4 ドライブの保護	37
パスワードによるドライブの保護	37
ドライブのロック解除	39
WD SmartWare ソフトウェアによるドライブのロック解除	40
WD ドライブのロック解除ユーティリティによるドライブのロック解除	40
パスワードの変更	41
ドライブのロック機能の無効化	42
5 ファイルのバックアップ	44
バックアップ機能のしくみ	44
ファイルのバックアップ	44
6 ファイルの復元	51
復元機能のしくみ	51
ファイルの復元	51
7 ドライブの管理とカスタマイズ	56
ドライブの健全性チェック	56
ドライブの消去	57
ドライブ設定でのドライブ消去機能の使用	58
無効なパスワードの 5 回の使用	59

ドライブ名の指定	60
本製品の登録	61
WD SmartWare ソフトウェアとディスクイメージを復元する	62
ドライブのスリープタイマーの設定	62
バーチャル CD アイコンの表示または非表示	63
WD Quick View アイコンの使用	64
ドライブステータスのチェック	64
アイコンアラートの監視	65
WD SmartWare の起動	65
ドライブの安全な接続解除	65
8 ソフトウェアの管理とカスタマイズ	67
ソフトウェアの更新のチェック	67
Dropbox アカウントの作成	67
別の復元フォルダーの指定	69
バックアップバージョンの数の指定	69
WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール	70
A 規制遵守情報	73
GNU 一般公衆利用許諾契約書 (GPL)	73
インデックス	74

WD SmartWare ソフトウェアについて

WD SmartWare™ ソフトウェアは、次の機能を備えた使いやすいバックアップアプリケーションです。

- **データを自動的に保護** – 連続バックアップにより、ファイルを追加や変更するたびに、複製コピーを直ちに作成します。定期バックアップは、選択した日付や時刻で実行されます。
- **バックアップの進捗状況を表示** – カテゴリモードのバックアップにより、ファイルをカテゴリごとに整理して表示します。ファイルモードのバックアップでは、特定のファイルとフォルダーを選択することができます。どちらのモードでも、バックアップの進捗状況をお知らせします。
- **紛失したファイルを簡単に復元** – フォルダーを削除したり、大切なファイルを上書きしたり、すべてを紛失してしまうことがあっても、データを簡単に復元できます。
- **思いどおりの管理** – サポート対象の WD 製デバイスに対して、バックアップのカスタマイズ、診断の実行、電源設定の管理などが可能です。

My Book® と My Passport® の場合、以前のドライブでは、WD SmartWare ソフトウェアのドライブ設定機能が使用できます。最新モデルでは、これらの機能は WD Drive Utilities™ ソフトウェアが対応します。

- **暗号化機能を搭載** – パスワード保護と 256 ビットのハードウェアでの暗号化により、不正アクセスや盗難からデータを保護します。

My Book と My Passport の場合、以前のドライブでは、WD SmartWare ソフトウェアのセキュリティ機能が使用できません。最新モデルでは、これらの機能は WD Security™ ソフトウェアが対応します。

- **WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレード** – WD 製以外のドライブ、サポート対象外の WD 製デバイス、対応クラウドサービスでも、バックアップ機能が使用できるようになります。

クラウドへのバックアップには、Dropbox™ アカウントが必要です。クラウドアカウントはいつでも、予告なしに変更、終了、または中断される場合があります。

オペレーティングシステムの互換性

WD SmartWare ソフトウェアは、次の Windows® オペレーティングシステムと互換性があります。

- Windows Vista®
- Windows 7
- Windows 8

互換性は、ハードウェア構成とオペレーティングシステムにより異なる場合があります。最高のパフォーマンスと信頼性を得るには、Windows Update サービスを使用して最新のアップデートおよびサービス パック (SP) をダウンロード、インストールしてください。

WD 製ハードディスクドライブへの対応

WD SmartWare ソフトウェアは、直接接続およびネットワーク接続された、次の WD 製外付けデバイスに対応しています。

■ 直接接続された My Book® ドライブ

- My Book
- My BookEssential™
- My BookElite™
- MY BOOK DUO
- My Bookfor Mac (Windows オペレーティングシステムには再フォーマットが必要)
- My BookStudio™ (Windows オペレーティングシステムには再フォーマットが必要)

■ 直接接続された My Passport® ドライブ

- My Passport
- My PassportEssential™
- My PassportEssential SE
- My PassportElite™
- My Passport Edge™
- My Passport Ultra™
- My Passport Ultra *Metal Edition*
- My Passport Slim™
- My Passportfor Mac (Windows オペレーティングシステムには再フォーマットが必要)
- My PassportSE for Mac (Windows オペレーティングシステムには再フォーマットが必要)
- My Passport Edge for Mac (Windows オペレーティングシステム用に再フォーマット)
- My Passport Air (Windows オペレーティングシステムには再フォーマットが必要)
- My PassportStudio™ (Windows オペレーティングシステムには再フォーマットが必要)

注： 本バージョンの WD SmartWare ソフトウェアで Mac 用ドライブを使用する場合、Windows オペレーティングシステム用に再フォーマットする必要があります。My Book または My Passport のドライブの再フォーマットに関する詳細については、<http://support.wdc.com> にアクセスして、WD ナレッジベースの回答 ID 3865 をご参照ください。

■ ネットワーク接続された WD 製デバイス

- My Book Live™
- My Book Live Duo
- WD My Cloud™
- WD My Cloud EX2
- WD My Cloud EX4
- WD My Cloud Mirror<:so>WD My Cloud Mirror
- My Net™ N600
- My Net N750
- My Net N900
- My Net N900 Central

WD 製以外のデバイスへの対応

WD SmartWare Pro ソフトウェアアップグレードにより、次に対するバックアップ機能が拡張されます。

- WD 以外の USB ハードディスクドライブ
- サポート対象外の WD デバイス
- 対応クラウドサービス

WD SmartWare Pro ソフトウェアにアップグレードするには、アクティベーションコードを購入する必要があります。または、30 日間無料お試し版によりアップグレードすることもできます。

クラウドサービスへの対応

アップグレードした WD SmartWare Pro ソフトウェアは Dropbox クラウドサービスに対応しています。

機能概要

WD SmartWare ソフトウェアのすべての特徴と機能は、5 つのタブの選択により表示される次のいずれかの画面で使用できます。

画面 ... (タブ)	機能 ...
ホーム	<p>デバイスアイコンとコンテンツゲージが表示されます。ここには、選択したバックアップ元デバイスと使用できる各バックアップ先デバイスの総容量とカテゴリ構成が示されます。</p> <p>選択したバックアップ元デバイスに、複数の内蔵ハードディスクドライブか複数のハードディスクドライブパーティションがある場合、または、使用できるバックアップ先デバイスに、複数のパーティションかネットワーク共有がある場合、WD SmartWare ソフトウェアはセレクトボックスを表示します。このボックスを使用することで、いずれかを指定することができます。</p> <p>4 ページの「[ホーム] タブ画面」を参照してください。</p>
バックアップ	<p>選択するバックアップモードに応じて、次 2 つのバックアップダイアログのいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カテゴリごとのダイアログには、コンテンツゲージが表示されます。ここには、選択したバックアップ元デバイスとバックアップ先デバイスの総容量とカテゴリ構成が示されます。 ■ ファイルごとのダイアログには、選択したバックアップ元デバイスのフォルダー一覧が表示されます。一覧を使用して、バックアップするファイルとフォルダーを選択します。 <p>11 ページの「[バックアップ] タブ画面」を参照してください。</p>
復元	<p>次を選択する 3 つの全画面ダイアログが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイルの復元元とするバックアップ済みボリューム ■ 復元したファイルをコピーする復元先の場所 ■ 復元するファイル <p>15 ページの「[復元] タブ画面」を参照してください。</p>

(続く)

画面 ... (タブ)	機能 ...
設定	<p>選択したバックアップ先デバイスの種類とモデルに応じて、次の 2 つのダイアログのいずれかが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ サポートされている WD ドライブおよびネットワーク接続デバイスのほとんどでは、[設定] 画面には、[ソフトウェア設定] および [ドライブ設定] の画面が表示されます。 ■ サポートされている WD ドライブ、サポートされていない WD デバイス、および WD 以外のドライブの一部では、[設定] 画面には、[ソフトウェア設定] 画面のみが表示されます。 <p>17 ページの「[設定] タブ画面」を参照してください。</p>
ヘルプ	<p>次に簡単にアクセスできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファイルのバックアップと復元、ソフトウェアとドライブ設定の選択に関する詳細情報 ■ WD のカスタマーサポートサービス <p>20 ページの「[ヘルプ] タブ画面」を参照してください。</p>

各画面で、WD SmartWare ソフトウェアは、接続されているデバイスのハードウェア構成に応じて、名前とグラフィック画像を変更します。

注： 詳細な [ヘルプ] タブ画面の情報に加えて、WD SmartWare の各画面ではオンラインヘルプに簡単にアクセスでき、バックアップ、復元、設定の作業にすぐに役立つことができます。作業手順を確認する場合は、画面の右上隅にある情報 / オンラインヘルプのアイコンをいつでもクリックしてください。



オンラインヘルプを確認後、情報 / オンラインヘルプ画面を閉じる場合は、画面の右上隅にある [X] (ウィンドウを閉じる) アイコンをクリックします。

[ホーム] タブ画面

[ホーム] タブ画面を使用して、デバイスのコンテンツゲージを表示し、次を選択します。

- バックアップするファイルが存在するソースデバイスまたはドライブパーティション
- ファイルのバックアップ先、ファイルの復元元、または設定の対象となるターゲットデバイスまたはデバイスパーティション / ネットワーク共有

[ホーム] タブ表示の機能の簡単な説明については、5 ページの図 1 および 6 ページの表 1 を参照してください。

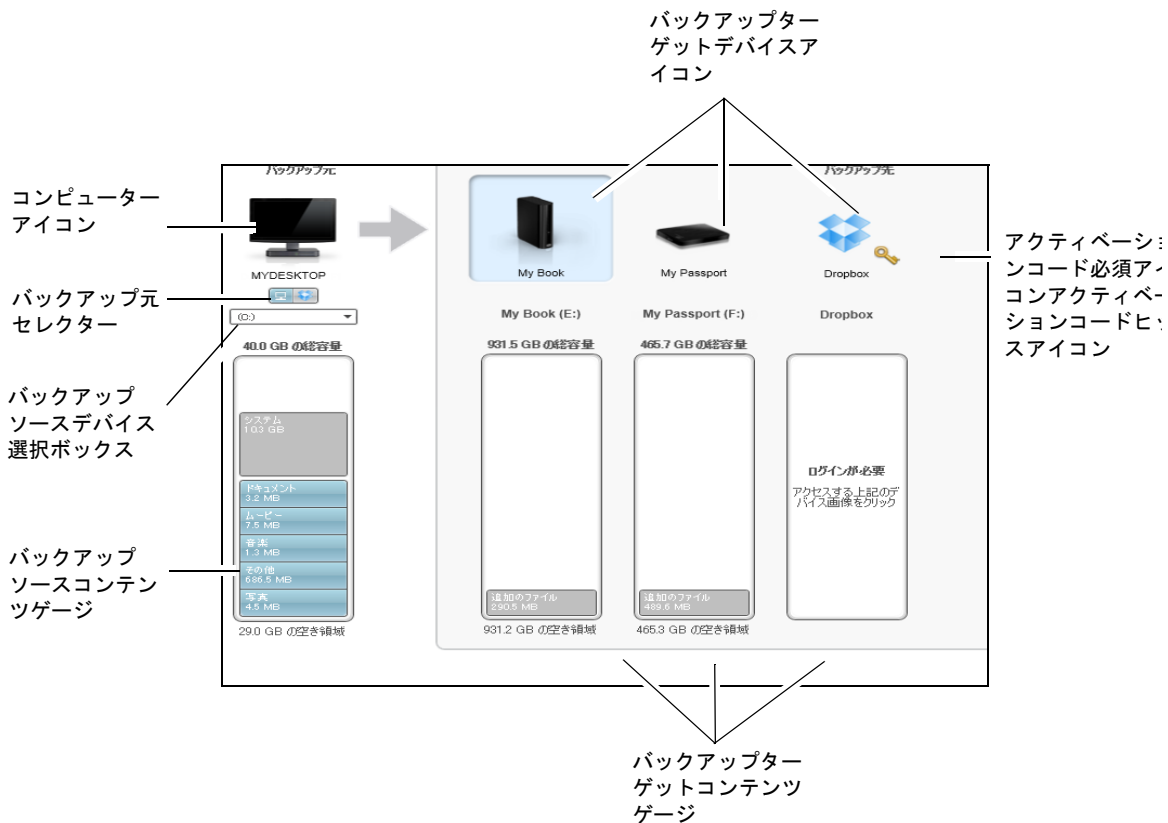
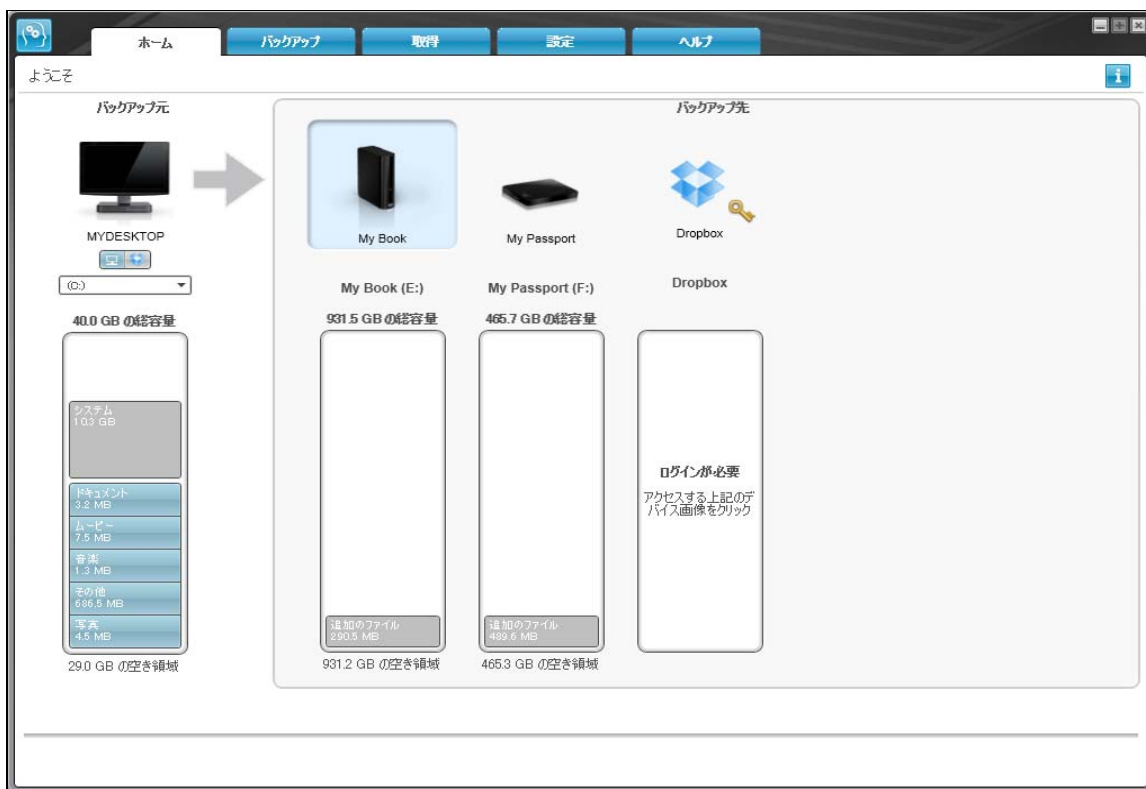






図1 [ホーム] タブ画面

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
<p>アクティベーションコード 必須アイコン</p>	 <p>デバイスが、WD 製以外のデバイスかサポート対象外の WD 製デバイスであることを示します。このデバイスにアクセスするには、有効なアクティベーションコードと WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレードが必要です。</p>
<p>バックアップ元 Dropbox ア イコン</p>	<p>5 ページの図 1 には表示されていません：</p>  <p>バックアップ処理に Dropbox オプションを選択していることを示します。</p> <p>このアイコンを右クリックし、[アカウントの選択] を選択すると、WD SmartWare Pro ソフトウェアがアクセスする Dropbox アカウントを設定するための、[Dropbox ログインが必要] ダイアログが表示されます。</p> 
<p>バックアップ元コンピュー ターアイコン</p>	<p>バックアップ処理にコンピューターオプションを選択していることを示します。選択したドライブまたはドライブパーティションの名前が表示されます。</p> <p>アイコンを右クリックすると、以下のようなメニューが表示されます。</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 開く - コンピューターのファイル管理ユーティリティのリストを表示します。 ■ プロパティ - 選択されたドライブまたはドライブパーティションでの Windows の [システムのプロパティ] ダイアログを表示します。

(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明														
バックアップ元コンテンツ ゲージ	<p>選択したバックアップ元デバイスのコンテンツゲージには、次の 6 種類のカテゴリタイプのバックアップで対象となるすべてのファイルが、青色の背景で表示されます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ファイルのカテゴリ</th> <th>ファイルの対象拡張子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドキュメント</td> <td>.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、 などのドキュメントの拡張子</td> </tr> <tr> <td>メール</td> <td>.mail、.msg、.pst、などのメールの拡張子</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>.mp3、.wav、.wma、などの音楽の拡張子</td> </tr> <tr> <td>ムービー</td> <td>.avi、.mov、.mp4、などのムービーの拡張子</td> </tr> <tr> <td>写真</td> <td>.gif、.jpg、.png、などの写真の拡張子</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>主要な 5 種類のカテゴリに属さないその他の ファイル</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象となるすべてのファイル拡張子の一覧については、 http://support.wd.comで、WD ナレッジベースの回答 ID 3644 を検索してください。</p> <p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 暗い灰色の背景で表示されるシステムカテゴリは、カテゴリタイプのバックアップの対象にならないすべてのオペレーティングシステムファイルです。これには、システムファイル、プログラムファイル、アプリケーション、.tmp ファイルや .log ファイルなどの作業ファイル、および Temp フォルダに保存されているすべてのファイルが含まれます。 ファイルタイプのバックアップを選択して実行する際に、[システム] カテゴリの名前が [除外] に変更されます。[除外] カテゴリには、ファイルバックアップの対象外であるすべてのファイルが含まれます。 ■ 暗い灰色の背景で表示される復元カテゴリは、前のバックアップから復元されたファイルを示します。これらのファイルはカテゴリタイプのバックアップには利用できません。 ■ Outlook の .pst ファイルは頻繁に変更されるため、このファイルが連続バックアップでバックアップされるのは、24 時間に一度のみです。この例外は、他のメールアプリケーションファイルには適用されません。定期バックアップでは、Outlook の .pst ファイルは予定どおりにバックアップされます。 ■ ポインターを [カテゴリ] の上に移動すると、カテゴリ内のファイルの数が表示されます。 	ファイルのカテゴリ	ファイルの対象拡張子	ドキュメント	.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、 などのドキュメントの拡張子	メール	.mail、.msg、.pst、などのメールの拡張子	音楽	.mp3、.wav、.wma、などの音楽の拡張子	ムービー	.avi、.mov、.mp4、などのムービーの拡張子	写真	.gif、.jpg、.png、などの写真の拡張子	その他	主要な 5 種類のカテゴリに属さないその他の ファイル
ファイルのカテゴリ	ファイルの対象拡張子														
ドキュメント	.doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、 などのドキュメントの拡張子														
メール	.mail、.msg、.pst、などのメールの拡張子														
音楽	.mp3、.wav、.wma、などの音楽の拡張子														
ムービー	.avi、.mov、.mp4、などのムービーの拡張子														
写真	.gif、.jpg、.png、などの写真の拡張子														
その他	主要な 5 種類のカテゴリに属さないその他の ファイル														
バックアップ元デバイスセ レクター	<p>コンピューターオプションが選択されている場合、バックアップ元デバイスとして使用できる、コンピューターの内蔵ハードディスクドライブ、ハードディスクドライブパーティション、直接接続ドライブのすべてが、一覧表示されます。</p>														




(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
バックアップ元セクター	<p>バックアップ元デバイスの種類を選択する次のオプションを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コンピュータオプションが選択された場合、コンピュータアイコンが表示され、コンピュータの内蔵ハードドライブ、ハードドライブパーティション、および直接接続ドライブがすべてデバイス選択ボックス内に表示されます。 ■ Dropbox オプションを選択すると、Dropbox アイコンが表示され、バックアップ元デバイスセクターは非表示になります。
バックアップ先コンテンツゲージ	<p>WD SmartWare ソフトウェアをインストールした後では、デバイスに初回のバックアップやファイルのコピーを行わなくても、バックアップ先のコンテンツゲージでは、[その他のファイル] カテゴリに少量のファイルのみが表示されます。これらは、デバイスを取り付けた際にコンピューターのオペレーティングシステムが格納したシステムファイルや隠しファイルです。</p> <p>デバイスにバックアップやファイルのコピーを行った後では、バックアップ先のコンテンツゲージには、次が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ バックアップソースデバイスのコンテンツゲージと同じカテゴリにバックアップされたすべてのファイル (7 ページの「バックアップ元コンテンツゲージ」を参照してください) ■ [その他のファイル] カテゴリでデバイスにコピーまたは保存したその他のファイル






(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
<p>バックアップ先デバイスアイコン</p>	<p>コンピューターに接続されたバックアップ先デバイスの名前を表示します。</p> <p>コンピューターにサポート対象のデバイスを複数接続している場合、バックアップ機能と復元機能に使用するいずれかのデバイスを左クリックします。WD SmartWare ソフトウェアは、選択したデバイスを明るい青色の背景でハイライト表示します。</p> <div data-bbox="618 451 1323 609" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>選択した My Book ドライブ</p>  </div> <p>直接接続ドライブアイコンを右クリックすると以下のオプションを持つメニューが表示されます。</p> <div data-bbox="618 703 836 871" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 開く - コンピューターのファイル管理ユーティリティにデバイスリストを表示します。 ■ プロパティ - Windows の [ドライブプロパティ] ダイアログを表示します。 ■ 安全な取り外し - ドライブを取り外すための準備が行われます。WD 製以外のドライブには、[安全な削除] オプションは使用できません。 <p>ネットワーク接続デバイスを右クリックすると、以下のようなメニューが表示されます。</p> <div data-bbox="618 1186 779 1354" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ■ 開く - コンピューターのファイル管理ユーティリティにデバイスリストを表示します。 ■ ダッシュボード - デバイス設定のために Web インターフェースを表示します。 ■ マップ - Windows の [ネットワークドライブのマッピング] ダイアログを表示します。 ■ ショートカットの作成 - デスクトップ画面にデバイスへのショートカットを追加します。 ■ 警告 - WD SmartWare の WD Alerts レポートを表示します。 ■ プロパティ - デバイスの詳細およびトラブルシューティング情報を表示します。 <p>WD SmartWare Pro ソフトウェアにすでにアップグレードしている場合、Dropbox アイコンを右クリックすると、WD SmartWare Pro ソフトウェアがアクセスする Dropbox アカウントを設定するための、[Dropbox ログインが必要] ダイアログへのリンクが表示されます。</p>

(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
バックアップ先デバイスセクター	<p>5 ページの図 1 には表示されていません：</p>  <p>サポート対象のバックアップ先デバイスにドライブパーティションまたはネットワーク共有が複数ある場合、そのデバイスの各アイコンの下にバックアップ先デバイスセクターが表示されます。ここで選択するドライブパーティションまたはネットワーク共有は、以降のバックアップ操作ではターゲットとなり、また以降の復元操作ではソースとなります。</p>
デバイス表示スクロールポインター	<p>5 ページの図 1 には表示されていません。</p> <p>WD SmartWare ソフトウェアの 1 回のインストールで、システムが対処できる最大数の外付けデバイスに対応します。接続されているデバイスをすべて表示しきれない場合は、WD SmartWare ソフトウェアのデバイス表示左右スクロールポインターを使用すれば、すべてを確認することができます。</p>  <p style="text-align: center;">スクロールポインター</p>
デバイスロックアイコン	<p>5 ページの図 1 には表示されていません：</p>  <p>デバイスがパスワードで保護され、ロックされていることを示します。</p>
無料お試しカウントダウンアイコン	<p>5 ページの図 1 には表示されていません：</p>  <p>WD SmartWare Pro ソフトウェアの 30 日間無料アップグレードお試し版により、WD 製以外のデバイス、サポート対象外のデバイス、またはクラウドサービスにアクセス中であることを示します。</p>
書き込み可能パーティションなしアイコン	<p>5 ページの図 1 には表示されていません：</p>  <p>WD SmartWare ソフトウェアが、有効なボリュームや共有をデバイスで見つけれない場合に表示されます。WD SmartWare のバックアップ機能と復元機能で使用するデバイスを選択するには、そのデバイスを事前に設定しておく必要があります。</p>

(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレードボタン	<p>各 [WD SmartWare] タブ画面の右上隅に表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードをお知らせします。</p>  <p>このボタンをクリックするとダイアログが表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードを購入してアクティブにするか、または 30 日間無料お試し版を使い始めます。</p>

[バックアップ] タブ画面

WD SmartWare ソフトウェアには、バックアップするファイルの選択方法に応じて、次の 2 種類の [バックアップ] タブ画面があります。

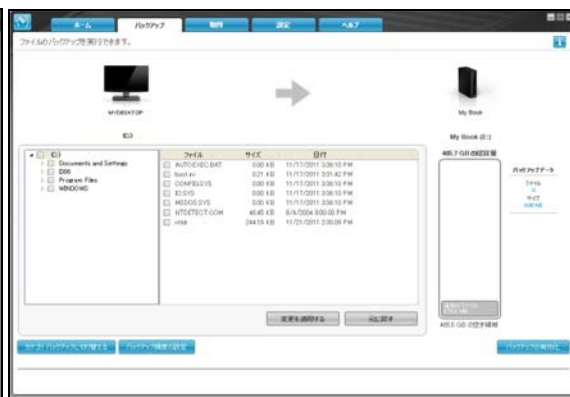
- カテゴリ別 - コンテンツゲージの表示内容と同様
- ファイル別 - 選択したバックアップ元デバイスのフォルダー構造で示されます。

[バックアップ] タブ画面を使用して、バックアップするファイルまたはファイルのカテゴリを選択し、バックアップ処理を管理します。

[バックアップ] タブ画面の機能概要については、12 ページの図 2 および 13 ページの表 2 を参照してください。



カテゴリ別バックアップ画面

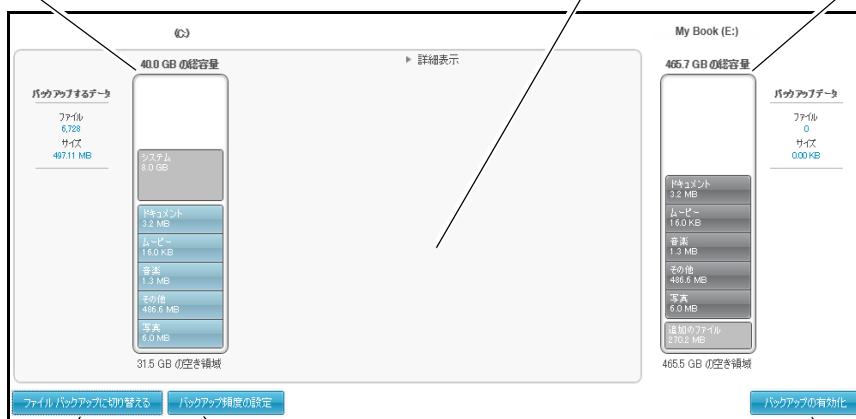


ファイル別バックアップ画面

バックアップソース
コンテンツゲージ

バックアップ詳細表示領域

バックアップターゲット
コンテンツゲージ




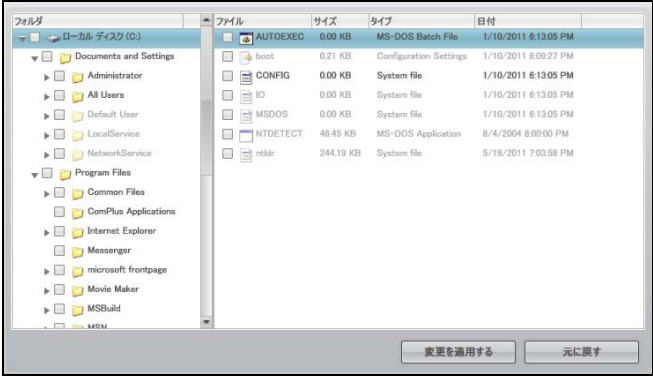
カテゴリ / ファイル
バックアップトグル
ボタン

バックアップ頻度の設
定ボタン

バックアップの有効化 /
無効化トグルボタン



図2 [バックアップ] タブ画面

表 2 [バックアップ] タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
バックアップ詳細表示領域	<p>WD SmartWare ソフトウェアの初期 / デフォルト設定では、カテゴリモードで、ファイルのすべてのカテゴリをバックアップします。この設定では、バックアップ詳細表示領域は空白です。</p> <p>[詳細表示] をクリックすると、バックアップファイルの選択ボックスが表示され、バックアップするファイルのカテゴリが指定できます。</p>  <p>バックアップファイルの選択ボックスで [変更を適用する] をクリックすると、カスタムバックアッププランが作成され、コンテンツゲージが更新されます。</p> <p>[ファイルバックアップに切り替える] をクリックすると、フォルダ構成が表示され、バックアップするファイルまたはフォルダを個々に指定できます。</p>  <p>注： [バックアップ] タブ画面では、バックアップ元デバイスのコンテンツゲージが、フォルダ構成の表示に置き換わります。</p> <p>WD SmartWare ソフトウェアの初期 / デフォルト設定では、ファイルモードで、どのファイル / フォルダもバックアップ対象として選択されていません。バックアップするファイルまたはフォルダを選択したら、次の作業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [変更を適用する] をクリックして、直近の選択を使用してカスタムバックアッププランを作成します。 ■ [元に戻す] をクリックして、直近の選択を解除し、以前に適用した設定を再表示します。

(続く)

表 2 [バックアップ] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
<p>バックアップ予定通知ボタン</p>	<p>12 ページの図 2 には表示されていません :</p>  <p>定期バックアップの場合、このボタンをクリックすると次の内容のステータスダイアログが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 次回の定期バックアップの日付と時刻、行われなかった可能性のある直近のバックアップ、完了した直近のバックアップが表示されます。 ■ [今すぐバックアップ] ボタンでは、予定を無視してこの時点でバックアップを実行できます。
<p>バックアップ元コンテンツゲージ</p>	<p>[ホーム] タブ画面で選択したバックアップ元デバイスのコンテンツゲージと同じです。(7 ページの「バックアップ元コンテンツゲージ」を参照してください)。</p>
<p>バックアップ先コンテンツゲージ</p>	<p>[ホーム] タブ画面で選択したバックアップ先デバイスのコンテンツゲージと同じです。(8 ページの「バックアップ先コンテンツゲージ」を参照してください)。</p>
<p>カテゴリ / ファイルバックアップトグルボタン</p>	<p>カテゴリとファイルとの間でバックアップのモードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カテゴリモード – コンテンツゲージに示されるカテゴリに従い、ファイルをバックアップします。 バックアップモードがカテゴリの場合、ボタン名は [ファイルバックアップに切り替える] になります。 ■ ファイルモード – 選択したバックアップ元ドライブのフォルダー構成に従い、ファイルをバックアップします。 バックアップモードがファイルの場合、ボタン名は [カテゴリバックアップに切り替える] になります。
<p>バックアップの有効化 / 無効化トグルボタン</p>	<p>バックアップを開始および停止します。</p>
<p>バックアップ頻度の設定ボタン</p>	<p>連続バックアップまたはスケジュールバックアップのいずれかを選択すると [バックアップ頻度の設定] ダイアログが開きます。連続バックアップは絶えず実行されます。スケジュールバックアップでは指定された日時にのみバックアップが実行されます。</p>
<p>WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレードボタン</p>	<p>各 [WD SmartWare] タブ画面の右上隅に表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードをお知らせします。</p>  <p>このボタンをクリックするとダイアログが表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードを購入してアクティブにするか、または 30 日間無料お試し版を使い始めます。</p>

[復元] タブ画面

次の3種類の [復元] タブ画面により、バックアップファイルを見つけ出し、これらを選択した復元場所にコピーすることができます。

- 復元元バックアップボリュームの選択
- ファイルの復元先の選択
- 復元するファイルの選択

[復元] タブ画面の機能概要については、下記の図 3 および 16 ページの表 3 を参照してください。

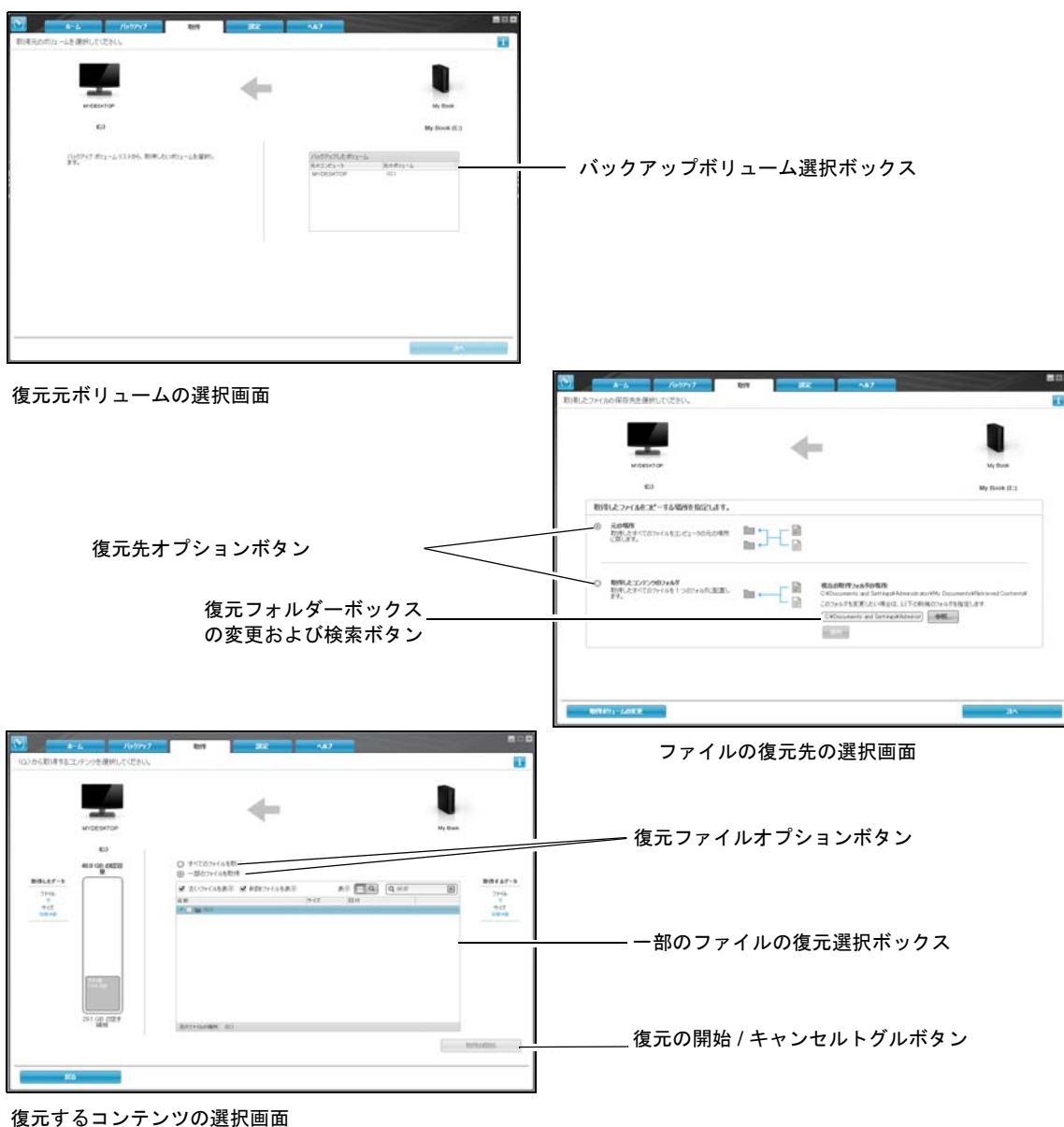


図 3 [復元] タブ画面

表 3 「復元」タブ画面の機能の説明


表示項目	説明
バックアップボリューム 選択ボックス	<p>選択したバックアップ先デバイスでファイルの復元元になり得るバックアップ済みボリュームを一覧表示します。</p> <p>[次へ] をクリックして復元処理を引き続き行えるようにするには、バックアップボリュームを事前に選択する必要があります。</p>
復元フォルダーボックス の変更および検索ボタン	<p>デフォルトでは、WD SmartWare ソフトウェアは、ユーザー名の [マイドキュメント] フォルダーに [復元したコンテンツ] という名前のフォルダーを作成し、使用します。別のフォルダーを指定する場合は、参照機能を使用し、[適用] をクリックします。</p>
復元先オプションボタン	<p>復元したファイルをコピーする場所を指定します。次を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ [元の場所] では、復元したファイルをバックアップされた元の同じ場所にコピーします ■ [復元したコンテンツフォルダー] では、復元したファイルをここで指定するフォルダーにコピーします。
復元ファイルオプション ボタン	<p>デフォルトでは、[一部のファイルの復元] オプションが選択されており、WD SmartWare ソフトウェアは [一部のファイルの復元] 選択ボックスを表示します。このボックスを使用すれば、選択したファイルまたはフォルダーのみを見つけ出し、復元することができます。</p> <p>[すべてのファイルを復元] オプションを選択すると、[一部のファイルを復元] 選択ボックスが閉じられ、WD SmartWare ソフトウェアは選択したバックアップターゲットデバイスの選択したバックアップボリュームからすべてのファイルを復元します。</p>
一部のファイルの復元選 択ボックス	<p>選択したバックアップ済みボリュームからのすべてのファイルをフォルダー構成で表示します。ここには、ファイルまたはフォルダーを個々に選択するチェックボックスが表示されます。</p>  <p>The screenshot shows a file explorer window titled 'ローカル ディスク (C:)'. The left pane shows a tree view with folders: Users, Public, Music, Sample Music, Pictures, Recorded TV, Videos, and test. The right pane shows a list of files with checkboxes, sizes, and dates. The files listed are: Kalimba.mp3 (8.02 MB, 2009年7月14日), Maid with the Flaxen Hair.n (3.92 MB, 2009年7月14日), and Sleep Away.mp3 (4.82 MB, 2009年7月14日). The status bar at the bottom indicates '元のファイルの場所: C:\'.</p>
復元の開始 / キャンセル トグルボタン	<p>復元操作を開始 / 停止します。</p>

表 3 [復元] タブ画面の機能の説明 (続く)

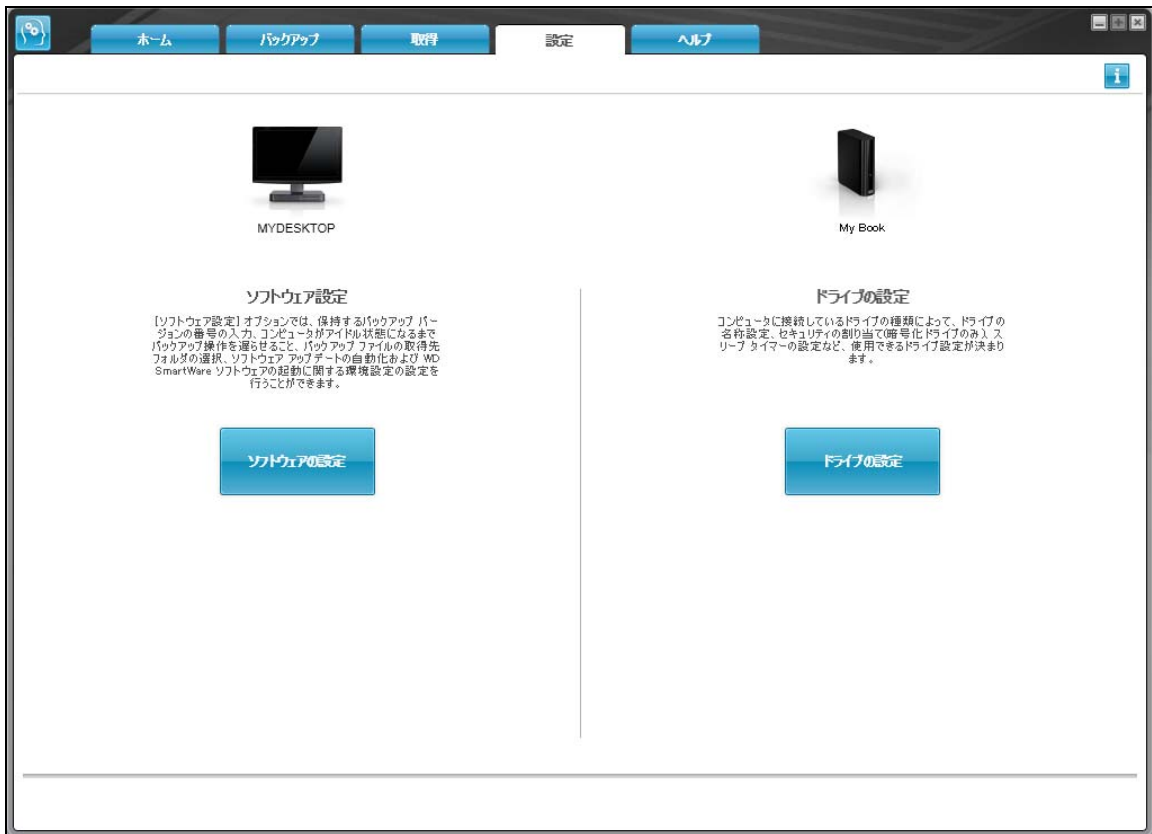
表示項目	説明
WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレードボタン	各 [WD SmartWare] タブ画面の右上隅に表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードをお知らせします。  このボタンをクリックするとダイアログが表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードを購入してアクティブにするか、または 30 日間無料お試し版を使い始めます。

[設定] タブ画面

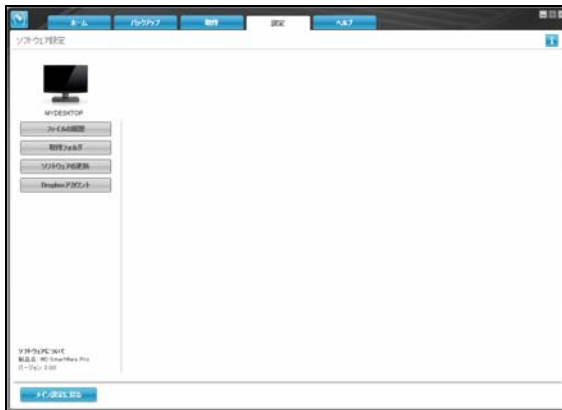
[設定] 画面の構成は、選択したバックアップターゲットデバイスの種類およびモデルによって異なります。

- ほとんどのサポート対象の WD 製ドライブとネットワーク接続デバイスの場合、[設定] タブ画面には、次の画面にリンクするボタンがあります。
 - [ソフトウェア設定] 画面
 - 直接接続 WD ドライブの場合は [ドライブ設定] 画面
 - ネットワーク接続 WD デバイスの場合は Web ユーザーインターフェース
- WD Security と WD Drive Utilities ソフトウェアに対応している WD 製ドライブの場合、およびすべての WD 製以外のドライブの場合、[設定] タブは [ソフトウェア設定] 画面のみを表示します。

[設定] 画面の機能概要については、18 ページの図 4 および 19 ページの表 4 を参照してください。



【設定】タブ画面




【ソフトウェア設定】画面



【ドライブ設定】画面

図4 【設定】タブ画面

表 4 [設定] タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
[診断] ボタン	[診断を実行] ダイアログを表示して、ドライブの健全性をチェックするための以下の診断 / 自己テストユーティリティを開始することができます。
[ドライブ消去] ボタン	[ドライブ消去] ダイアログを表示して、ロックされていないドライブを消去することができます。
[Dropbox アカウント] ボタン	WD SmartWare Pro ソフトウェアがアクセスする Dropbox アカウントを設定するダイアログを表示します。
[ファイルの履歴] ボタン	[ファイルの履歴] ダイアログを表示して、ファイルごとに保存するバックアップバージョンの数を指定することができます。
[ラベル] ボタン	18 ページの図 4 には表示されていません。 ラベルのカスタマイズが可能な My Book ドライブと My Passport ドライブの場合、[ラベルの設定] ダイアログを表示して、ドライブに名前を付けます。
[登録] ボタン	[ドライブの登録] ダイアログを表示して、ご使用のサポートされている WD ドライブを登録することができます。
[復元フォルダー] ボタン	[復元フォルダーの設定] ダイアログを表示して、ファイルに別の保存先を指定することができます。
[セキュリティ] ボタン	暗号化が有効な WD 製ドライブの場合、ドライブがパスワードで保護されているかどうかに応じて、次のダイアログが表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> ■ パスワードの作成を行うための [セキュリティの設定] ダイアログ ■ パスワードの変更またはドライブロック機能の無効化を行うための [ドライブは保護されています] ダイアログ
[ドライブの設定] ボタン	直接接続されたサポート対象の WD 製ドライブの場合、[ドライブの設定] 画面を表示して、ドライブを設定して保護します。 ネットワーク接続されたサポート対象の WD 製デバイスの場合、Web ブラウザーに Web インターフェイスを表示して、デバイスを設定します。
[ソフトウェアの設定] ボタン	[ソフトウェアの設定] 画面を表示して、WD SmartWare ソフトウェアの管理とカスタマイズを行います。
[スリープタイマー] ボタン	[スリープタイマーの設定] ダイアログを表示して、外付けデバイスをオフにするまでの時間の長さを設定することができます。
[ソフトウェアの更新] ボタン	[ソフトウェアの更新] ダイアログを表示して、ソフトウェアの更新を自動的にチェックするオプションを有効 / 無効にします。
WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレードボタン	各 [WD SmartWare] タブ画面の右上隅に表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードをお知らせします。  このボタンをクリックするとダイアログが表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードを購入してアクティブにするか、または 30 日間無料お試し版を使い始めます。

(続く)

表 4 [設定] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
[バーチャル CD] ボタン	<p>18 ページの図 4 には表示されていません：</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 10px auto;">Virtual CD</div> <p>WD SmartWare ソフトウェアがバーチャル CD で供給されている My Book ドライブと My Passport ドライブの場合、[ドライブ設定] 画面で [バーチャル CD] ボタンをクリックして [バーチャル CD の設定] ダイアログを表示し、バーチャル CD アイコンとドライブリストを、コンピューターのファイル管理ユーティリティ画面で表示または非表示にします。</p>

[ヘルプ] タブ画面

[ヘルプ] タブ画面では、ラーニングセンターのトピックやオンラインサポートサービスへのリンクにすぐにアクセスすることができます。

[ヘルプ] タブ画面の機能概要については、下記の図 5 および 21 ページの表 5 を参照してください。



図 5 [ヘルプ] タブ画面

表 5 [ヘルプ] タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
お問い合わせ先リンク	ブラウザを使用して http://support.wd.com/contact にアクセスし、お問い合わせ先をご確認いただけます。
[ラーニングセンター ピック] ボタン	ラーニングセンターの次のような主なヘルプトピックを表示するためのリンクがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 概要 ■ バックアップ ■ 復元 ■ 管理およびカスタマイズ
オンラインユーザーマ ニュアルリンク	Web ブラウザーを使用して、次の WD SmartWare ソフトウェアのユーザーマニュアルのページに接続します。 http://www.wd.com/wdproducts/wdsmartware/um.asp
サポートリンク	Web ブラウザーを使用して、WD のサービスとサポートのホームページ (http://support.wdc.com) に接続します。
WD SmartWare Pro ソフト ウェアへのアップグレー ドボタン	各 [WD SmartWare] タブ画面の右上隅に表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードをお知らせします。  このボタンをクリックするとダイアログが表示され、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードを購入してアクティブにするか、または 30 日間無料お試し版を使い始めます。
WD ストアリンク	Web ブラウザーを使用して、次の WD のオンラインストアに接続します。 http://www.wdstore.com

2

ソフトウェアのインストールと作業の開始

この章では、WD SmartWare ソフトウェアのインストール手順、および初回のバックアップと初期のドライブ設定で作業を開始する手順について説明します。

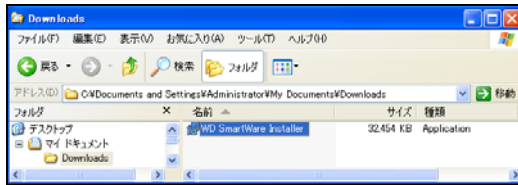
WD SmartWare のセットアップファイルは、次の場所にあります。

- 直接接続された WD 製ストレージデバイスの場合は、ドライブ
- ネットワーク接続された WD 製ストレージデバイスの場合は、ドライブまたはセットアップ CD のいずれか
- コンピューターでのダウンロードフォルダー内

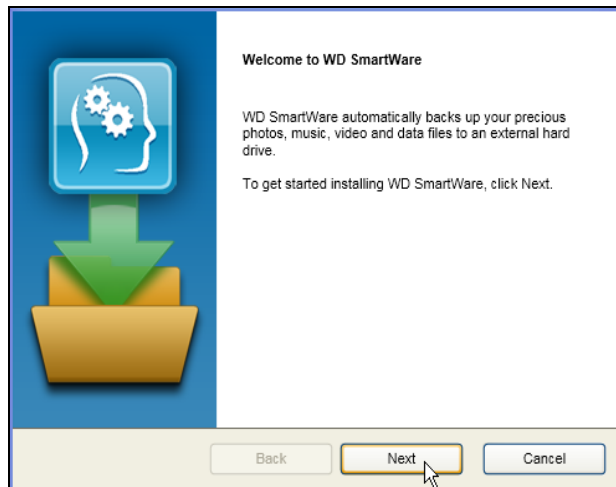
セットアップファイルがドライブまたはセットアップ CD にある場合は、ここで説明する手順ではなく、デバイスのユーザーマニュアルに記載されたソフトウェアのインストール手順に従ってください。

WD SmartWare ソフトウェアのインストール

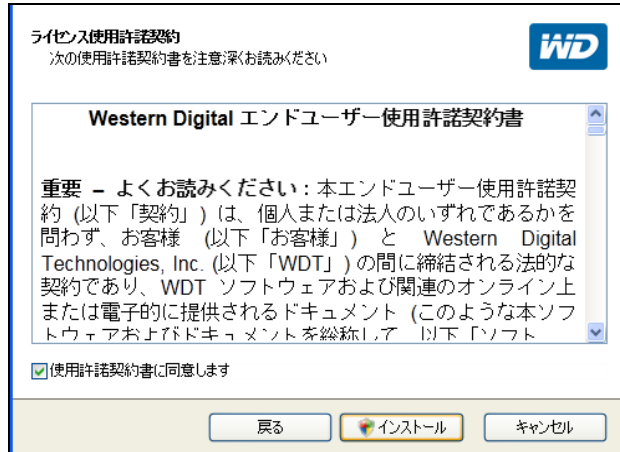
1. コンピューターのファイル管理ユーティリティを使用してソフトウェアを保存したダウンロードフォルダーを開き、WD SmartWare インストーラーのプログラムファイルをダブルクリックします。



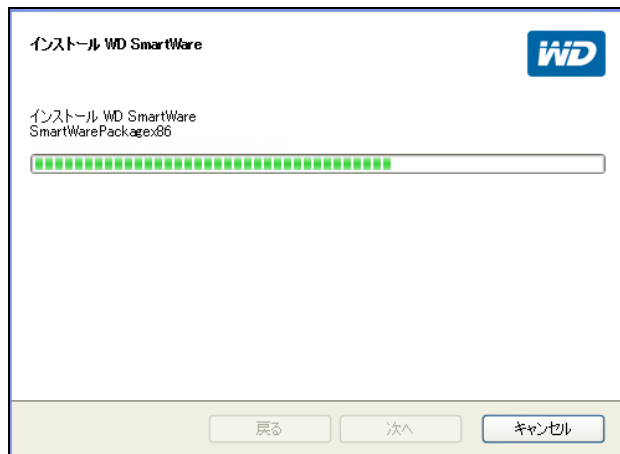
2. WD SmartWare インストーラー / セットアップウィザードで、[次へ] をクリックします。



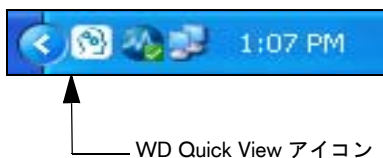
3. 使用許諾契約を読み、[内容を読み、同意します ...] チェックボックスを選択し、[インストール] をクリックします。



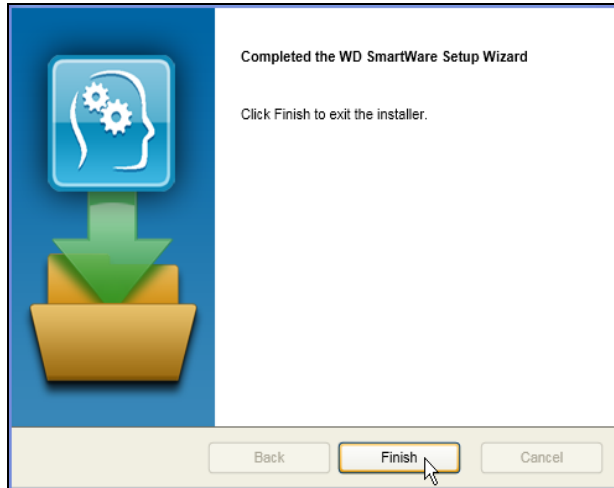
4. インストールの完了を待ちます。



5. インストール中には、WD Quick View アイコンが Windows タスクバーのシステムトレイに表示されます。



6. インストールが完了したら、[完了] をクリックして WD SmartWare インストーラー / セットアップウィザードを閉じます。



7. インストールが正常に行われている場合、WD SmartWare ソフトウェアは次を実行します。
- WD SmartWare ソフトウェアのロゴを一時的に表示する



- [バックアップ元とバックアップ先の選択] 画面を表示して、初回バックアップの作業を開始する




これで WD SmartWare ソフトウェアはインストールされました。ここで初期バックアップのためのセットアップ手順をスキップする場合は、[バックアップ元とバックアップ先の選択] 画面の右上隅にある X (閉じる) ウィンドウアイコンをクリックします。省略しない場合は、次の章の「作業の開始 - 最初のバックアップ」へ進みます。

作業の開始 - 最初のバックアップ


[バックアップ元とバックアップ先の選択] 画面には、バックアップ処理が可能なすべてのデバイスが表示されます。この画面を使用して、初回のバックアップ元とバックアップ先のデバイスを選択します。

1. デフォルトでは、[バックアップデバイスの選択] 画面の [バックアップ元] 領域には、バックアップ元デバイスとしてコンピューターオプションが選択されています。



条件 ..	作業 ..
コンピューターに、 <ul style="list-style-type: none"> ■ 内蔵ハードディスクドライブまたはハードディスクドライブパーティションが複数ある ■ 直接接続された外付けハードディスクドライブが複数ある 	バックアップ元デバイスセレクターを使用して、ファイルのバックアップ元とするデバイスを指定します。 
バックアップ元デバイスとして Dropbox クラウドサービスを使用する	WD SmartWare Pro ソフトウェアにアップグレードする必要があります。バックアップ元セレクターで Dropbox オプションを選択します。32 ページの「WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレード」を参照してください。

2. [バックアップ元とバックアップ先の選択] 画面の [バックアップ先] 領域で、外付けデバイスを選択します。このデバイスでは、バックアップ済みボリュームを作成し、バックアップファイルをコピーします。

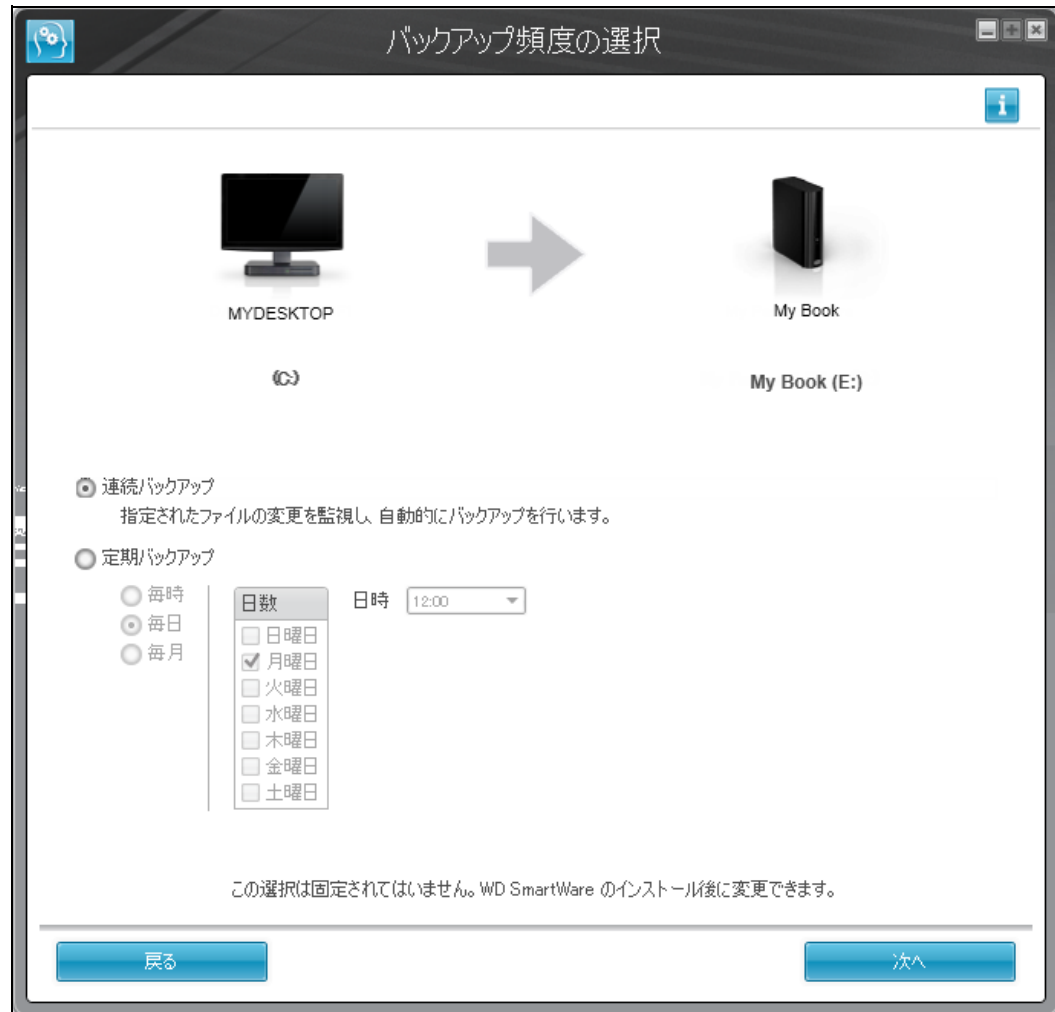
条件 ..	作業 ..
選択する外付けデバイスに、ドライブパーティションまたはネットワーク共有が複数ある	バックアップ先デバイスセレクターを使用して、ファイルのバックアップ先とするドライブパーティションまたはネットワーク共有を指定します。 
バックアップ先として、サポート対象外の WD 製ドライブ、WD 製以外のドライブ、または Dropbox クラウドサービスを選択する	WD SmartWare Pro ソフトウェアにアップグレードする必要があります。32 ページの「WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレード」を参照してください。

3. [次へ] をクリックして、初期の [バックアッププランの選択] 画面を表示します。



4. 初期の [バックアッププランの選択] 画面で、次の作業を行います。
- a. 実行するバックアップの種類を、次のオプションから選択します。
 - **カテゴリバックアップ** – 選択したバックアップ元デバイスで、選択したカテゴリのファイルをすべて検出して、バックアップします。
 - **ファイルバックアップ** – 選択したバックアップ元デバイスのフォルダービューから、選択したファイルまたはフォルダーをバックアップします。

- b. [次へ] をクリックして、初期の [バックアップ頻度の選択] 画面を表示します。



5. 初期の [バックアップ頻度の選択] 画面で、次の作業を行います。
- バックアップ元デバイスをスキャンし、変更された既存ファイルや追加された新規ファイルを自動的にバックアップするタイミングを、次のオプションから選択します。
 - 連続バックアップ
 - 定期バックアップ
 - [定期バックアップ] オプションを選択した場合、[毎時]、[毎日]、または [毎月] のオプションを選択し、チェックボックスと選択ボックスを使用してバックアップをスケジュールします。

選択 ...	バックアップの実行 ...
毎時	1 時間おきに毎時
毎日	選択した曜日での選択した時刻 a. [曜日] チェックボックスを選択または選択を解除して、バックアップを実行する曜日を指定します。 b. [時刻] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。

(続く)

選択 ...	バックアップの実行 ...
毎月	<p>選択した月日での選択した時刻</p> <p>a. 【毎月日】 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する月日（1日目、2日目、3日目、4日目、最終日など）を指定します。</p> <p>b. 【曜日】 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する曜日を指定します。</p> <p>c. 【時刻】 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。</p>

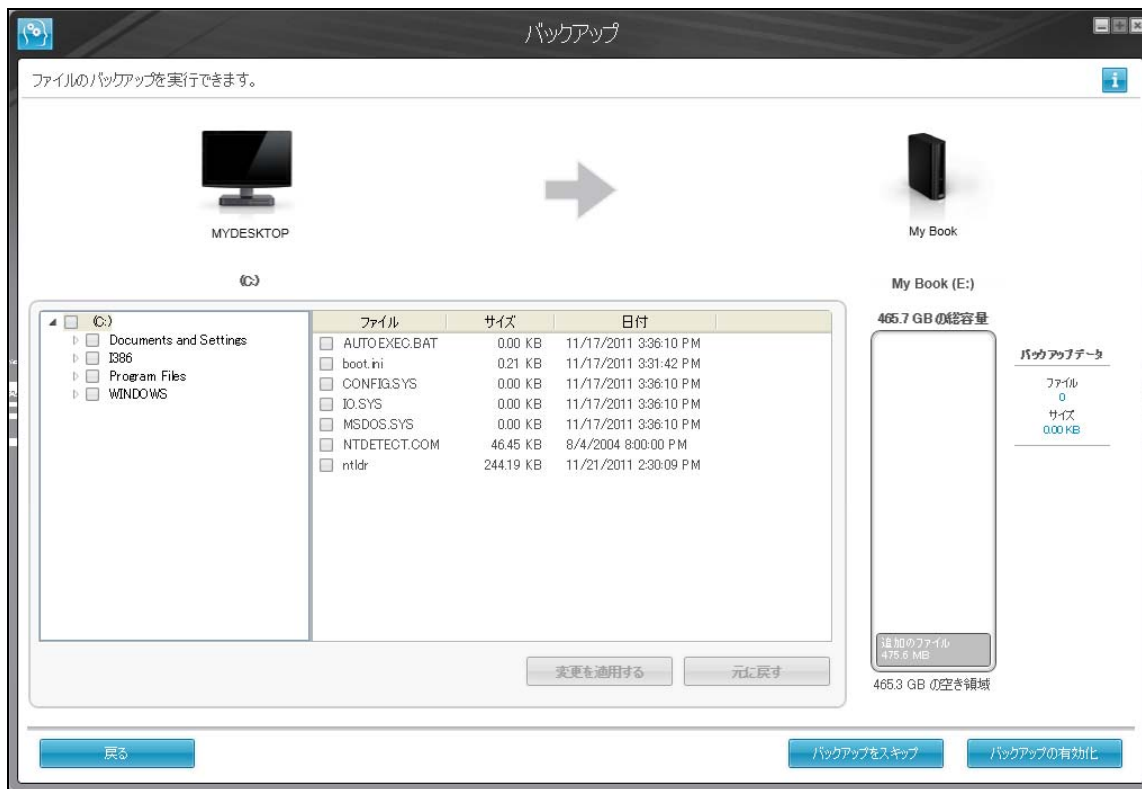
- c. **【次へ】** をクリックして、初期の **【バックアップ】** 画面を表示します。初期の **【バックアップ】** 画面に表示される内容は、26 ページの手順 4 で選択したバックアップの種類により異なります。（29 ページの図 6 を参照してください）。
6. 44 ページの「ファイルのバックアップ」を参照し、**【バックアップの有効化】** または **【バックアップの省略】** のいずれかをクリックして、初回のバックアップを有効にするか省略します。
7. 「バックアッププランの設定が完了」メッセージが表示されたら、**【OK】** をクリックします。



8. 初期の **【ドライブ設定】** 画面が表示されたら、30 ページの「作業の開始 - 初期のドライブ設定」に進みます。



初期の [カテゴリバックアップ] 画面



初期の [ファイルバックアップ] 画面

図 6 初回の [バックアップ] 画面

作業の開始 - 初期のドライブ設定



初期の [ドライブ設定] 画面で使用できるドライブ設定ボタンは、25 ページの手順 2 で選択したバックアップ先デバイスのハードウェア構成により異なります。たとえば、次のようになります。

- 暗号化されていない WD 製ドライブの画面には、[セキュリティ] ボタンは表示されません。
- ラベルをカスタマイズできる WD 製ドライブの画面には、[ラベル] ボタンが表示されます。



- 選択したバックアップ先デバイスが次の場合、初期の [ドライブ設定] 画面は表示されません。
 - WD Security と WD Drive Utilities ソフトウェアに対応している WD 製ドライブ
 - ネットワーク接続デバイスまたは対応クラウドサービス
 - WD 製以外のドライブ

1. ドライブのハードウェア構成に応じて、初期の [ドライブ設定] 画面で次の作業を行います。
 - [登録] をクリックします。61 ページの「本製品の登録」を参照してください。
 - [セキュリティ] をクリックします。37 ページの「パスワードによるドライブの保護」を参照してください。
 - [ラベル] をクリックします。63 ページの「バーチャル CD アイコンの表示または非表示」を参照してください。
2. [完了] をクリックして、初期の [ドライブ設定] 画面を閉じます。

3

WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレード

この章では以下のトピックについて説明します。

[アップグレード作業の開始](#)

[無料お試し版](#)

[アクティベーションコードの購入](#)

[WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードのアクティビ化](#)

WD SmartWare ソフトウェアをインストールした後では、WD SmartWare Pro ソフトウェアにアップグレードすることで、次のドライブでもバックアップ機能を使用できるようになります。

- WD 製以外の外付けハードディスクドライブ
- サポート対象外の WD 製ドライブ
- Dropbox クラウドサービス

アップグレードするには、アクティベーションコードを購入する必要があります。または、30 日間無料お試し版によりアップグレードすることもできます。

アップグレード作業の開始

1. WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレードを開始するには、次のいずれかを選択します。
 - 初期の [バックアップ元とバックアップ先の選択] 画面または WD SmartWare の [ホーム] 画面のいずれかにバックアップ元またはバックアップ先のデバイスとして表示される、WD 製以外のドライブ、サポート対象外の WD 製ドライブ、または Dropbox クラウドサービス
 - WD SmartWare の各タブ画面の右上隅に表示される [WD SmartWare Pro へのアップグレード] アイコン
2. WD SmartWare ソフトウェアは、[WD SmartWare Pro バージョンへのアップグレード] ダイアログを表示します。



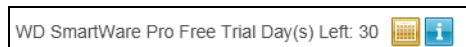
3. [WD SmartWare Pro バージョンへのアップグレード] ダイアログで、次の作業を行います。

条件 ..	作業 ..
30 日間無料お試し版で WD SmartWare Pro ソフトウェアにアップグレードする	[無料お試しの申し込み] をクリックし、33 ページの「無料お試し版」に進みます。
アクティベーションコードを購入する	[購入] をクリックし、35 ページの「アクティベーションコードの購入」に進みます。
アクティベーションコードは購入済みであり、このコンピューターでアップグレードをアクティブにする	[アクティブ化] をクリックし、36 ページの「WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードのアクティブ化」に進みます。

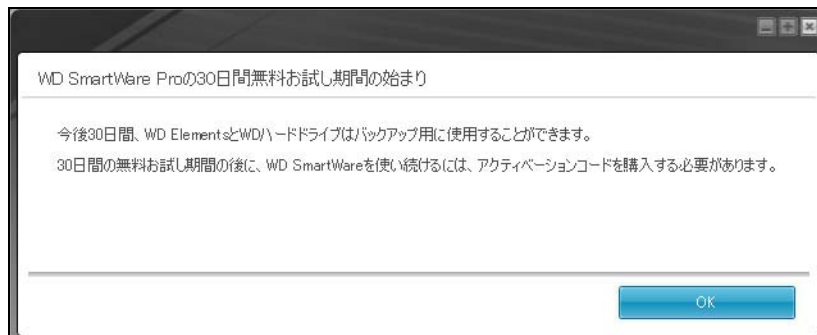
無料お試し版

[WD SmartWare Pro バージョンへのアップグレード] ダイアログで、[**無料お試しの申し込み**] をクリックすると、次が行われます。

- 30 日間無料お試し版で WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレードをアクティブにする
- WD SmartWare のタブ画面の右上隅に、無料お試し版のカウントダウンアイコンと残り日数メッセージを表示する



- 無料お試し版の概要を表示する



[OK] をクリックしてメッセージ画面を閉じます。

無料お試し期間中にアクティベーションコードを購入する場合は、次の作業を行います。

1. 無料お試し版のカウントダウンアイコンをクリックして、[WD SmartWare Pro へのアップグレード] ダイアログを表示します。



2. [WD ストア] リンクをクリックして、WD ストア Web サイトの購入ページで、[Select Your Country to Begin Your Purchase] ダイアログを表示し、35 ページの「アクティベーションコードの購入」に進みます。

アクティベーションコードの購入

[購入] をクリックするか、[WD SmartWare Pro へのアップグレード] ダイアログで WD ストアリンクをクリックすると、WD ストア Web サイトの購入ページで、[Select Your Country to Begin Your Purchase] ダイアログがコンピューターの Web ブラウザーに表示されます。

1. 国を選択し、[続ける] をクリックして [ライセンスの選択] タブを表示します。
2. [ライセンスの選択] タブで、次の作業を行います。
 - a. 購入するアップグレードライセンスの種類を、次のオプションから選択します。
 - 標準 (3 台のコンピューターで有効)
 - プレミアム (10 台のコンピューターで有効)
 - b. [続ける] をクリックして、[カート] タブを表示します。
3. [カート] タブで、次の作業を行います。
 - a. カート内のライセンスが購入するライセンスであることを確認します。
 - b. プロモーションコードをお持ちの場合は、[プロモーションコード] ボックスにそのコードを入力し、[適用] をクリックします。
 - c. [続ける] をクリックして、[課金情報] タブを表示します。
4. WD ストアの新規顧客か既存顧客かにより、[課金情報] タブで次の作業を行います。
 - WD ストアのアカウトをすでにお持ちの場合は、次の作業を行います。
 - a. [メールアドレス] ボックスにメールアドレスを入力します。
 - b. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
 - c. [顧客チェックアウト] をクリックして、[課金情報] タブの [支払い情報] ダイアログを表示します。36 ページの手順 6 に進みます。
 - WD ストアのアカウトをお持ちでない場合は、[チェックアウトを続ける] をクリックして、[課金情報] タブの [アカウントの作成] ダイアログを表示します。
5. [課金情報] タブの [アカウントの作成] ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. [メールアドレス] ボックスにメールアドレスを入力します。
 - b. [メールアドレスの確認] ボックスに再度メールアドレスを入力します。
 - c. [パスワードの作成] ボックスにパスワードを入力します。
 - d. [パスワードの確認] ボックスに再度パスワードを入力します。
 - e. [名] ボックスに名前を入力します。
 - f. [姓] ボックスに名字を入力します。
 - g. [住所の 1 行目] ボックスに所在地の番地を入力します。
 - h. [市町村] ボックスに市町村の名前を入力します。
 - i. [県] セレクターボックスを使用して県を選択します。
 - j. [郵便番号] ボックスに郵便番号を入力します。
 - k. [国] セレクターボックスを使用して国を選択します。
 - l. [電話番号] ボックスに電話番号を入力します。
 - m. 入力と選択が正しいことを確認し、[続ける] をクリックして、[課金情報] タブの [支払い情報] ダイアログを表示します。

6. [課金情報] タブの [支払い情報] ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. [クレジットカード番号] ボックスにクレジットカードのアカウント番号を入力します。
 - b. [有効期限] 選択ボックスを使用して、カードの有効期限の月と年を選択します。
 - c. [カードのセキュリティコード] ボックスに、カードのセキュリティコードを入力します。
 - d. [販売規約] リンクと [プライバシーポリシー] リンクをクリックして、注文取引条件を読みます。
 - e. クレジットカードの情報が正しいことを確認し、[続ける] をクリックして、[注文チェックアウトの確認] ダイアログを表示します。
7. [注文の確認チェックアウト] ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. 注文情報が正しいことを確認します。
 - b. [購入] をクリックして注文を発注し、[注文完了、ありがとうございました] ダイアログを表示します。
8. [注文完了、ありがとうございました] ダイアログで、[OK] をクリックします。これにより、このコンピューターで WD SmartWare Pro へのアップグレードがアクティブになります。さらに、35 ページの手順 2 で選択したライセンスの種類に応じた、別のコンピューターでソフトウェアをアップグレードするためのアクティベーションコードが、メールで通知されます。

WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードのアクティブ化

1. [WD SmartWare Pro バージョンへのアップグレード] ダイアログで [アクティブ化] をクリックすると、[WD SmartWare Pro へのアップグレード] ダイアログが表示されます。このダイアログでアクティベーションコードを入力します。



2. [WD SmartWare Pro のアクティブ化] ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. [アクティベーションコード] ボックスにアクティベーションコードを入力するか、コピーして貼り付けます。
 - b. [メールアドレス] ボックスにメールアドレスを入力します。
 - c. [OK] をクリックして、WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードをこのコンピューターでアクティブにします。

4

ドライブの保護

この章では以下のトピックについて説明します。

- パスワードによるドライブの保護
- ドライブのロック解除
- パスワードの変更
- ドライブのロック機能の無効化

注： My Book と My Passport の場合、以前のドライブでは、WD SmartWare ソフトウェアのセキュリティ機能が使用できます。最近のドライブでは、これらの機能は WD Security ソフトウェアが対応します。

パスワードによるドライブの保護

他のだれかがドライブにアクセスすることが心配な場合、ドライブ上のファイルを第三者に見せないようにする場合は、ドライブをパスワードで保護してください。

注意！ WD SmartWare ソフトウェアを使用すると、パスワードを使ってドライブをロックしたり、ロックを解除することができます。パスワードを忘れた場合は、ドライブ上のデータにアクセスしたり、新しいデータを書き込むことができなくなります。その場合、ドライブを再度使用できるようにするには、ドライブを消去する必要があります。

WD 製以外のドライブと暗号化されていない WD 製ドライブには、パスワードによる保護は適用できません。

1. コンピューターに外付けドライブを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、パスワードを作成するいずれかのドライブのアイコンを選択します。
2. [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ドライブの設定] ボタンが備わった WD SmartWare の [設定] タブ画面の代わりに、[ソフトウェア設定] 画面が表示されている場合は、WD Security ソフトウェアを使用して、選択したドライブのパスワードを作成する必要があります。

3. [ドライブ設定] 画面で、[セキュリティ] をクリックして、[セキュリティの設定] ダイアログを表示します。

セキュリティの設定


他の人がファイルにアクセスできないようにドライブを保護します。

パスワードの選択

パスワードの確認

パスワードのヒント

このコンピュータにパスワードを記憶させる

 **警告**

パスワードを取得できません。パスワードを忘れると、データに永久にアクセスできなくなります。

了解しました。

セキュリティ設定の保存

4. [セキュリティの設定] ダイアログでは次の操作を行います。
- [パスワードの選択] ボックスに最大 25 文字のパスワードを入力します。
 - [パスワードの確認] ボックスに再度パスワードを入力します。
 - [パスワードのヒント] ボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
 - WD SmartWare ソフトウェアにこのコンピュータでのパスワードを記憶させる場合は、[このコンピュータでのパスワードを記憶させる] チェックボックスを選択します。

注： この機能を使うと、現在ログオンしているユーザー名のパスワードを記憶します。別のユーザーでログオンするときは、パスワードを入力してこの選択を繰り返す必要があります。
 - パスワードを忘れた場合でのデータ損失の可能性についての警告を読みます。
 - [了解しました] チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを表明します。
 - [セキュリティ設定の保存] をクリックします。

注意！ パスワードを作成した後も、現在の作業セッションを続けている限り、ドライブはロック解除のままです。その後、WD SmartWare ソフトウェアは次のことを行います。

- ドライブをロックする：ユーザーがコンピュータをシャットダウンした場合、ドライブの再接続を解除した場合、または（構成に応じて）コンピュータがスリープモードに入った場合に、ドライブをロックします
- ドライブをロック解除するためにパスワードの入力を求める：ユーザーがコンピュータを再起動する場合、またはドライブの再接続を行う場合（パスワードの作成時に [このコンピュータでのパスワードを記憶させる] チェックボックスを選択していない場合）

ドライブのロック解除

第三者がドライブ上のファイルにアクセスできないようにパスワードを作成したら、次の作業を行う際には、パスワードの作成時に【このコンピューターでのパスワードを記憶させる】チェックボックスを選択しなかった場合、そのたびにパスワードを入力してドライブをロック解除する必要があります。

- コンピューターをシャットダウンし、再起動する
- ドライブの接続を解除し、コンピューターに再接続する
- コンピューターがスリープモードを終了する（構成によって異なります）

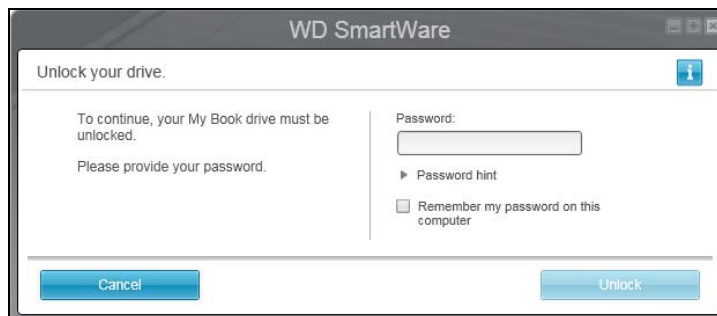
コンピューターに WD SmartWare ソフトウェアをインストールしていない場合でも、ロック解除は必要です。

WD SmartWare ソフトウェアによるドライブのロック解除

パスワードの作成時に [このコンピューターでのパスワードを記憶させる] チェックボックスを選択しなかった場合は、コンピューターをシャットダウンして再起動するたびに、またはロックしたドライブの接続を解除してコンピューターに再接続するたびに、WD SmartWare ソフトウェアは、そのアイコンにロック記号を追加し、ドライブのコンテンツゲージの位置に「ドライブはロックされています」というメッセージを表示します。



1. [ドライブのロックを解除します] ダイアログが自動的に表示されない場合は、[ドライブはロックされています] メッセージの上部にあるドライブイメージアイコンをクリックして、ダイアログを表示します。



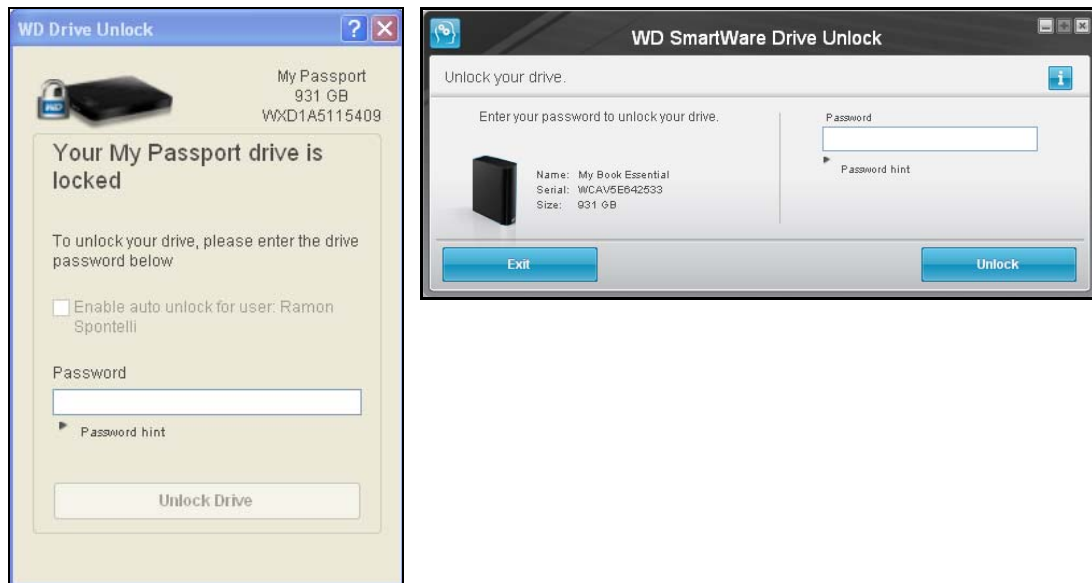
2. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
3. 今後このダイアログを表示したくない場合は、[このコンピューターにパスワードを記憶させる] チェックボックスをオンにします。
4. [ロック解除] をクリックします。

WD ドライブのロック解除ユーティリティによるドライブのロック解除

パスワードで保護されたドライブを WD SmartWare ソフトウェアがインストールされていないコンピューターに接続する場合、WD Drive Unlock Utility を使用すれば、そのたびにドライブのロックを解除することができます。WD SmartWare ソフトウェアには WD Drive Unlock Utility が付属しており、コンピューターのファイル管理ユーティリティ画面に表示される仮想 CD ドライブ上にあります。

1. 次のいずれかの方法で WD Drive Unlock Utility を起動します。
 - コンピューターのファイル管理ユーティリティを使用して、WD Unlocker パーチャル CD を開き、ロック解除のアプリケーションファイル（外付けデバイスの種類とモデルにより、「Unlock.exe」または「WD Drive Unlock.exe」のいずれか）をダブルクリックします。
 - [スタート] > [マイコンピュータ] をクリックし、リムーバブルストレージのデバイスの下で、WD Unlocker パーチャル CD のアイコンをダブルクリックする

表示されるロック解除画面は、ドライブの種類とモデルにより異なります。



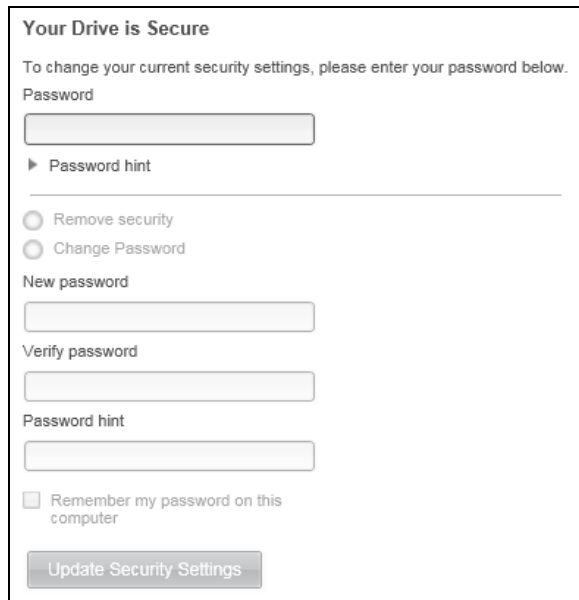
2. [パスワード] ボックスにパスワードを入力し、[ロック解除] または [ドライブのロック解除] をクリックします。
3. [ドライブのロックはただ今解除されました] プロンプトで、[終了] をクリックして Drive Unlock Utility 画面を閉じます。

パスワードの変更

1. コンピューターに外付けドライブを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、パスワードを変更するドライブのアイコンを選択します。
2. [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ドライブの設定] ボタンが備わった WD SmartWare の [設定] タブ画面の代わりに、[ソフトウェア設定] 画面が表示されている場合は、WD Security ソフトウェアを使用して、選択したドライブのパスワードを作成する必要があります。

3. [ドライブ設定] 画面で、[セキュリティ] をクリックして、[ドライブは保護されています] ダイアログを表示します。



Your Drive is Secure

To change your current security settings, please enter your password below.

Password

▶ Password hint

Remove security

Change Password

New password

Verify password

Password hint

Remember my password on this computer

Update Security Settings

4. [ドライブは保護されています] ダイアログで、次の操作を行います。
 - a. [パスワード] ボックスに現在のパスワードを入力します。
 - b. [パスワードの変更] オプションを選択します。
 - c. [新しいパスワード] ボックスに最大 25 文字の新しいパスワードを入力します。
 - d. [パスワードの確認] ボックスに再度新しいパスワードを入力します。
 - e. [パスワードのヒント] ボックスに新しいパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
 - f. [このコンピューターでのパスワードを記憶させる] チェックボックスを選択または選択を解除して、WD SmartWare ソフトウェアにこのコンピューターでのパスワードを記憶させるかどうかを指定します。

注： この機能を使うと、現在ログオンしているユーザー名のパスワードを記憶します。別のユーザーでログオンするときは、パスワードを入力してこの選択を繰り返す必要があります。
 - g. [セキュリティ設定の更新] をクリックします。

ドライブのロック機能の無効化

1. コンピューターに外付けドライブを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、パスワード保護を無効にするいずれかのドライブのアイコンを選択します。
2. [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ドライブの設定] ボタンが備わった WD SmartWare の [設定] タブ画面の代わりに、[ソフトウェア設定] 画面が表示されている場合は、WD Security ソフトウェアを使用して、選択したドライブのパスワード保護を無効にする必要があります。

3. [ドライブ設定] 画面で、[セキュリティ] をクリックして、[ドライブは保護されています] ダイアログを表示します。

Your Drive is Secure

To change your current security settings, please enter your password below.

Password

▶ Password hint

Remove security

Change Password

New password

Verify password

Password hint

Remember my password on this computer

4. [ドライブは保護されています] ダイアログで、次の操作を行います。
 - a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
 - b. [セキュリティの削除] オプションを選択します。
 - c. [セキュリティ設定の更新] をクリックします。

5

ファイルのバックアップ

この章では以下のトピックについて説明します。

バックアップ機能のしくみ
ファイルのバックアップ

バックアップ機能のしくみ

WD SmartWare ソフトウェアは、すべてのファイル（音楽、映画、写真、文書、メールなどのファイル）を選択したバックアップ先デバイスに自動的にバックアップします。連続バックアップにより、選択したバックアップ元デバイスでファイルを追加や変更するたびに、複製コピーを直ちに作成します。定期バックアップは、選択した日付や時刻で実行されます。

[バックアップの有効化] ボタンをクリックすると、WD SmartWare ソフトウェアは、選択したバックアップ元デバイスでさまざまな種類のファイルを分類し、これらすべてを選択したバックアップ先デバイスにバックアップします。またユーザーは、バックアップする特定のファイル、フォルダー、またはファイルのカテゴリを選択することができます。

バックアップを実行すると、WD SmartWare ソフトウェアは次のファイルをバックアップして、保護します。

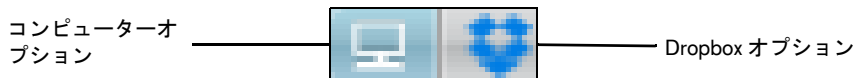
- 選択したバックアップ元デバイスで作成、またはコピーされる新しいファイル
- 変更される既存のファイル

この保護は、バックアップ元とバックアップ先のデバイスをコンピューターに接続したままの状態でも WD SmartWare ソフトウェアが自動的に行います。ユーザーは何もする必要はありません。

注： バックアップ保護は、バックアップ元とバックアップ先のデバイスがコンピューターに接続されている限り、自動的に行われます。したがって、いずれかのデバイスの接続を解除して再接続するたびに、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップ元デバイスを再スキャンして新しいファイルや変更されたファイルを見つけ出し、自動的なバックアップ保護を再開します。

ファイルのバックアップ

1. [ホーム] 画面の [バックアップ元] 領域で、バックアップするファイルがあるデバイスを選択します。
 - a. バックアップ元セレクターを使用して、ローカルのハードディスクドライブまたは Dropbox クラウドサービスのどちらからファイルをバックアップするかを指定します。



- b. デフォルトでは、コンピューターオプションが選択され、コンピューターのアイコンにより、バックアップ元デバイスは、内蔵ハードディスクドライブ、ドライ

ブパーティション、または直接接続されたローカルの外付けハードディスクドライブのいずれかであることが示されます。



Dropbox オプションを選択すると、Dropbox アイコンが表示され、バックアップ元デバイスは Dropbox クラウドサービスであることが示されます。

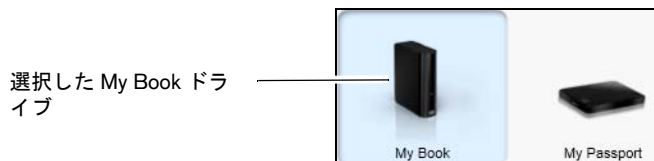


- c. コンピューターオプションを選択した場合、バックアップ元デバイスセレクターを使用して、バックアップする内蔵ドライブ、ドライブパーティション、または外付けドライブを選択します。



2. [ホーム] 画面の [バックアップ先] 領域で、次の作業を行います。

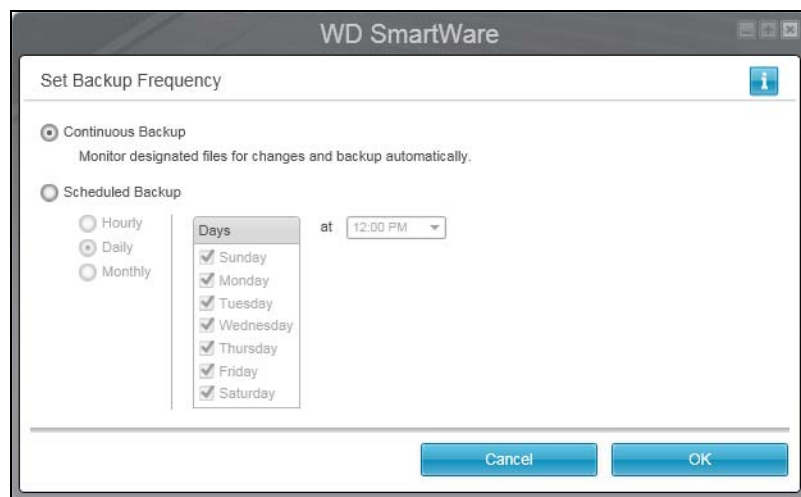
- a. コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、ファイルのバックアップ先を1つ選択します。
b. 選択したデバイスの回りが明るい青色でハイライトされることを確認します。



- c. 選択したバックアップ先デバイスに、ドライブパーティションまたはネットワーク共有が複数ある場合、デバイスアイコンの下にあるバックアップ先デバイスセレクターを使用して、いずれかを選択します。



3. [バックアップ] タブをクリックして、[バックアップ] 画面を表示します（12 ページの図 2 を参照）。
4. WD SmartWare ソフトウェアの初期 / デフォルト設定では、連続バックアップに設定されています。定期バックアップを設定する場合、次の作業を行います。
a. [バックアップ頻度の設定] をクリックして、[バックアップ頻度の設定] 画面を表示します。



- b. [バックアップ頻度の設定] 画面で、[定期バックアップ] オプションを選択します。
c. [毎時]、[毎日]、または [毎月] のオプションを選択し、チェックボックスと選択ボックスを使用してバックアップをスケジュールします。

選択 ...	バックアップの実行 ...
毎時	1 時間おきに毎時
毎日	選択した曜日での選択した時刻 a. [曜日] チェックボックスを選択または選択を解除して、バックアップを実行する曜日を指定します。 b. [時刻] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。
毎月	選択した月日での選択した時刻 a. [毎月日] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する月日（1 日目、2 日目、3 日目、4 日目、最終日など）を指定します。 b. [曜日] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する曜日を指定します。 c. [時刻] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。

- d. [OK] をクリックしてスケジュールを保存し、[バックアップ頻度の設定] 画面を閉じます。

[バックアップを有効にする] をクリックすると、WD SmartWare ソフトウェアは、バックアップ予定通知ボタンを [バックアップ] 画面に追加します。



このボタンをクリックすると以下の内容のステータスダイアログが表示されます。

- 次回の定期バックアップの日付と時刻、行われなかった可能性のある直近のバックアップ、完了した直近のバックアップが示されます。
- スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行するための [今すぐバックアップ] ボタンが提供されます。

5. [バックアップ] 画面で、次の作業を行います。

選択したバックアップ元デバイスでのバックアップ対象 ... 選択したバックアップソースデバイスで、以下の操作を行います。	手順 ...
すべてのファイルのカテゴリ	手順 6 に進みます。
選択したファイルのカテゴリ	手順 7 に進みます。
すべてのファイルとフォルダー	48 ページの手順 8 に進みます
選択したファイルとフォルダー	48 ページの手順 9 に進みます

6. すべてのファイルのカテゴリを、選択したバックアップ元デバイスからバックアップするには、次の作業を行います。

- a. バックアップモードがカテゴリであり、[バックアップ] 画面の左上端に、[カテゴリバックアップが実行できます] が表示されていることを確認します。

バックアップモードがファイルであり、そこに [ファイルバックアップが実行できます] が表示されている場合は、[カテゴリバックアップに切り替える] ボタンをクリックし、[バックアッププランの切り替え] プロンプトで [OK] をクリックします。

- b. **【詳細表示】** をクリックしてバックアップファイル選択ボックスを開き、6 種類のファイルカテゴリのチェックボックスがすべて選択されていることを確認します。



- c. 選択が解除されているチェックボックスを選択し、**【変更を適用する】** をクリックして、カスタムバックアッププランを作成し、コンテンツページを最新の情報に更新します。
- d. **【バックアップの有効化】** をクリックして、バックアップ元デバイスから、すべてのファイルのカテゴリのバックアップを、指定したバックアップ頻度で開始します。続いて、49 ページの手順 10 に進みます。
7. 選択したファイルのカテゴリを、選択したバックアップ元デバイスからバックアップするには、次の作業を行います。
- a. バックアップモードがカテゴリであり、**【バックアップ】** 画面の左上端に、**【カテゴリバックアップが実行できます】** が表示されていることを確認します。
バックアップモードがファイルであり、そこに **【ファイルバックアップが実行できます】** が表示されている場合は、**【カテゴリバックアップに切り替える】** ボタンをクリックし、**【バックアッププランの切り替え】** プロンプトで **【OK】** をクリックします。
- b. **【詳細表示】** をクリックして、バックアップファイル選択ボックスを開きます。



- c. バックアップファイル選択ボックスで、次の作業を行います。
 - バックアップの対象外とするファイルのカテゴリに対して、チェックボックスの選択を解除します。
 - バックアップの対象とするファイルのカテゴリに対して、チェックボックスを選択します。
 - d. **[変更を適用する]** をクリックして、カスタムバックアッププランを作成し、コンテンツゲージを最新の情報に更新します。
 - e. **[バックアップの有効化]** をクリックして、選択したバックアップ元デバイスから、選択したファイルのカテゴリのバックアップを、指定したバックアップ頻度で開始します。続いて、49 ページの手順 10 に進みます。
8. すべてのファイルとフォルダーを、選択したバックアップ元デバイスからバックアップするには、次の作業を行います。

- a. バックアップモードがファイルであり、**[バックアップ]** 画面の左上端に、**[ファイルバックアップが実行できます]** が表示されていることを確認します。
バックアップモードがカテゴリであり、そこに **[カテゴリバックアップが実行できます]** が表示されている場合は、**[ファイルバックアップに切り替える]** ボタンをクリックし、**[バックアッププランの切り替え]** プロンプトで **[OK]** をクリックします。
- b. バックアップファイル選択ボックスで、バックアップ元デバイスのチェックボックスを選択します。



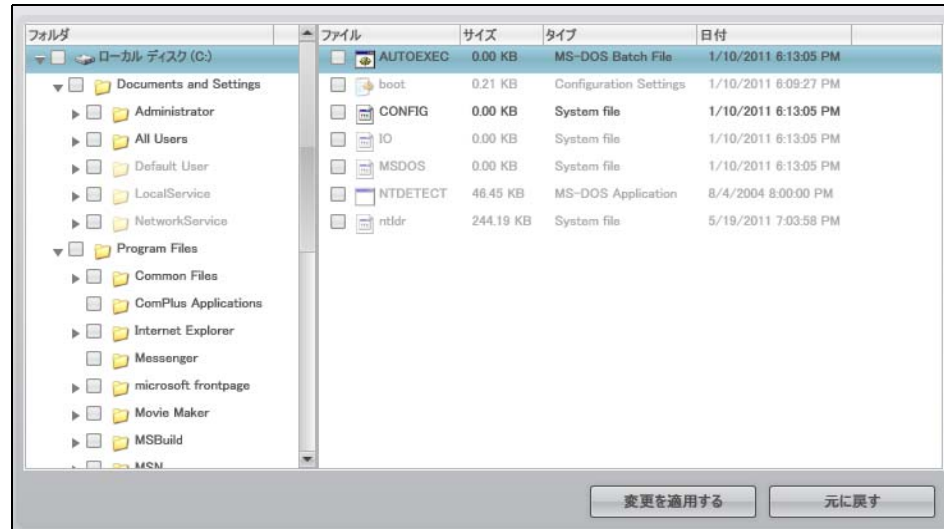
- c. フォルダー構成を開き、バックアップ元デバイスのチェックボックスを選択すると、そのデバイスのファイルとフォルダーのチェックボックスがすべて自動的に選択されることを確認します。

Folder	File	Size	Type	Date
<input checked="" type="checkbox"/> OS (C:)	<input checked="" type="checkbox"/> AUTOEXEC.BAT	0.00 KB	MS-DOS Batch File	4/25/2008 2:29:32 PM
<input checked="" type="checkbox"/> DELL	<input checked="" type="checkbox"/> boot.ini	0.21 KB	Configuration Settings	1/5/2010 2:52:14 PM
<input checked="" type="checkbox"/> Documents and Settings	<input checked="" type="checkbox"/> CONFIG.SYS	0.00 KB	System file	4/25/2008 2:29:32 PM
<input checked="" type="checkbox"/> I386	<input checked="" type="checkbox"/> dell.sdr	4.33 KB	SDR File	12/18/2009 2:13:40 PM
<input checked="" type="checkbox"/> Intel	<input checked="" type="checkbox"/> IO.SYS	0.00 KB	System file	4/25/2008 2:29:32 PM
<input checked="" type="checkbox"/> My Book Live Duo (Zermatt)	<input checked="" type="checkbox"/> MSDOS.SYS	0.00 KB	System file	4/25/2008 2:29:32 PM
<input checked="" type="checkbox"/> OldUnencryptedDiskImage	<input checked="" type="checkbox"/> NTDETECT.COM	46.45 KB	MS-DOS Application	4/14/2008 5:00:00 AM
<input checked="" type="checkbox"/> Program Files	<input checked="" type="checkbox"/> ntldr	244.19 KB	System file	4/14/2008 5:00:00 AM

- d. **[変更を適用する]** をクリックして、ここでの選択を使用してカスタムバックアッププランを作成します。
注： **[元に戻す]** をクリックすると、直近の選択が解除され、以前に適用した設定が再表示されます。
 - e. **[バックアップの有効化]** をクリックして、選択したバックアップ元デバイスから、すべてのファイルとフォルダーのバックアップを、指定したバックアップ頻度で開始します。続いて、49 ページの手順 10 に進みます。
9. 選択したファイルまたはフォルダーを、選択したバックアップ元デバイスからバックアップするには、次の作業を行います。
- a. バックアップモードがファイルであり、**[バックアップ]** 画面の左上端に、**[ファイルバックアップが実行できます]** が表示されていることを確認します。

バックアップモードがカテゴリであり、そこに [カテゴリバックアップが実行できます] が表示されている場合は、[ファイルバックアップに切り替える] ボタンをクリックし、[バックアッププランの切り替え] プロンプトで [OK] をクリックします。

- b. バックアップファイル選択ボックスで、フォルダー構成を開きます。



- c. バックアップするファイルまたはフォルダーのチェックボックスを個々に選択します。
- フォルダーのチェックボックスを選択すると、そのフォルダー内のサブフォルダーとファイルがすべて自動的に選択されることに注意してください。
- d. [変更を適用する] をクリックして、ここでの選択を使用してカスタムバックアッププランを作成します。
- 注： [元に戻す] をクリックすると、直近の選択が解除され、以前に適用した設定が再表示されます。
- e. [バックアップの有効化] をクリックして、選択したバックアップ元デバイスから、選択したファイルまたはフォルダーのバックアップを、指定したバックアップ頻度で開始します。続いて、手順 10 に進みます。

10. バックアップ中の表示、および可能な作業は次のとおりです。

- 進行状況バーとメッセージには、バックアップされたデータ量が示されます。
- カテゴリバックアップの場合は、次のような表示になります。
 - バックアップ元デバイスのコンテンツゲージでは、まだバックアップされていないファイルのカテゴリでのすべてのファイルの背景が、青色から黄色 / こはく色に変わります。
 - バックアップ先デバイスのコンテンツゲージでは、バックアップが完了したファイルのカテゴリの背景が、灰色から青色に変わります。
- WD SmartWare ソフトウェアはバックグラウンドでファイルをバックアップするため、ドライブの設定や別の作業を続けて行うことができます。
- [バックアップの有効化] トグルボタンを [バックアップの無効化] に変更すると、バックアップは無効になります。

11. バックアップの正常終了メッセージが表示された場合は、バックアップが正常に完了したことを示します。

バックアップできないファイルがあった場合、WD SmartWare は以下のものを表示します

- バックアップされなかったファイルの数を示す警告メッセージ
- バックアップされなかったファイルの一覧と理由を、クリックにより見ることができる表示リンク

一部のアプリケーションや実行中のプロセスではファイルがバックアップされないことがあります。一部のファイルがバックアップされなかった理由がわからない場合は、次のことを行ってください。

- 開いているファイルをすべて保存して閉じる
- メールソフトや Web ブラウザなどの実行しているすべてのアプリケーションを閉じる

重要： バックアップを完了するのに十分な空き容量がない場合、バックアップターゲットデバイスがいっぱいであることを示す警告メッセージが表示されます。長期的に最良なソリューションは、デバイスを長期のアーカイブストレージとし、以下を実行することです

- a. [ヘルプ] タブをクリックします。
- b. [WD ストア] リンクをクリックして、Western Digital のオンラインストアの Web サイトを表示します。
- c. [外付けハードディスクドライブ] をクリックし、予備のドライブとして最適なドライブを選択します。

手順 10 で [バックアップの無効化] をクリックした場合、[バックアップ無効化] 確認プロンプトが表示され、WDSmartWare ソフトウェアはバックグラウンドでバックアップを行うので、バックアップ中にはコンピューターを使用して別の作業を続けて行えることが通知されます。

続いて、次のいずれかをクリックします。

- 要求を破棄し、バックアップを無効にしない場合は [いいえ]
- 要求に従い、バックアップを無効にする場合は [はい]

12. ファイルをカテゴリ別にバックアップしており、コンピューターに内蔵ハードディスクドライブが複数ある場合は、ドライブごとにバックアップ手順を繰り返します。

6

ファイルの復元

この章では以下のトピックについて説明します。

復元機能のしくみ
ファイルの復元

復元機能のしくみ

WD SmartWare ソフトウェアにより、バックアップしたファイルをバックアップ先デバイスから簡単に復元し、これらを次のいずれかにコピーすることができます。

- バックアップ元デバイス上の元の場所
- 特定の復元コンテンツフォルダー

通常では、復元は次の5つの手順で行われます。

1. [ホーム] 画面で、次を選択します。
 - 復元先デバイス - 復元したファイルのコピー先とするバックアップ元デバイス
 - 復元元デバイス - 復元するファイルがあるバックアップ先デバイス
2. ファイルの復元元とするデバイスでバックアップボリュームを選択します。
3. 復元したファイルのコピー先を指定します。バックアップ元デバイス上の元の場所、または特定の復元コンテンツフォルダーのいずれかです。
4. 復元する対象を選択 - 指定ファイルの復元、指定フォルダーの復元、またはすべての復元が行えます
5. ファイルを復元します。

ファイルの復元

1. [ホーム] 画面の [バックアップ元] 領域で、復元したファイルのコピー先とする復元先デバイスを選択します。
 - a. バックアップ元セレクターを使用して、ローカルのハードディスクドライブまたは Dropbox クラウドサービスのどちらから復元ファイルをコピーするかを指定します。



- b. デフォルトでは、コンピューターオプションが選択され、コンピューターのアイコンにより、復元先は、内蔵ハードディスクドライブ、ドライブパーティション、または直接接続されたローカルの外付けハードディスクドライブのいずれかであることが示されます。



- c. Dropbox オプションを選択すると、Dropbox アイコンが表示され、復元先デバイスは、Dropbox クラウドサービスであることが示されます。

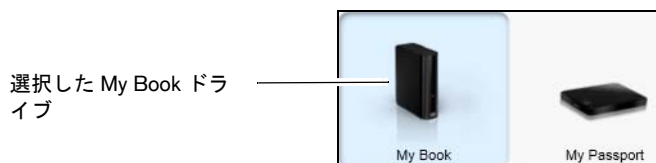


- d. コンピューターオプションを選択した場合、バックアップ元デバイスセレクターを使用して、復元したファイルのコピー先とする内蔵ドライブ、ドライブパーティション、または外付けドライブを選択します。



2. [ホーム] 画面の [バックアップ先] 領域で、次の作業を行います。

- a. コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、ファイルの復元元とするいずれかのデバイスを選択します。
- b. 選択したデバイスの回りが明るい青色でハイライトされることを確認します。



- c. 選択したデバイスに、ドライブパーティションまたはネットワーク共有が複数ある場合、デバイスアイコンの下にあるバックアップ先デバイスセレクターを使用して、いずれかを指定します。



3. [復元] タブをクリックします。次のいずれかのダイアログが表示されます。

- [ファイルの復元先の選択] ダイアログ
- [復元元ボリュームの選択] ダイアログ

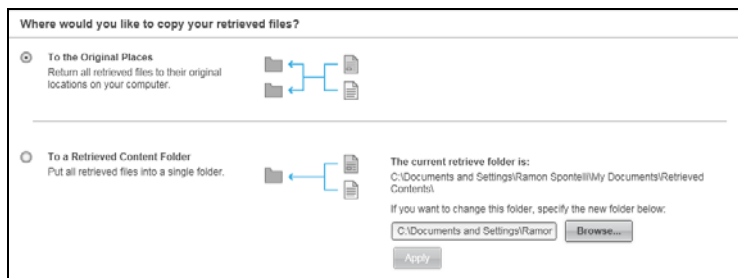
(15 ページの図 3 を参照してください)。

バックアップ時の処理 ...

WD SmartWare ソフトウェアでの表示 ...

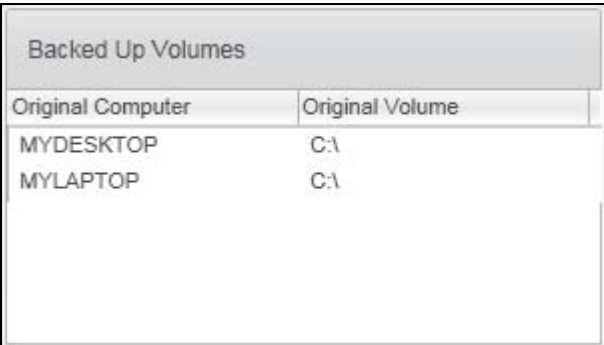
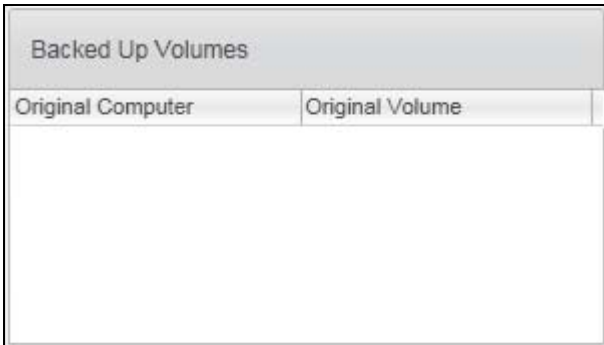
選択した復元先デバイスから、選択した復元元デバイスに、単一バックアップを作成した

[ファイルの復元先の選択] ダイアログ :



54 ページの手順 4 に進みます


(続く)

バックアップ時の処理 ...	WD SmartWare ソフトウェアでの表示 ...
<p>次のいずれかから、選択した復元元デバイスに、バックアップボリュームを複数作成した</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ バックアップ元デバイスでの別の内蔵ハードディスクドライブまたは別のハードディスクドライブの部分 ■ 別のバックアップ元デバイス 	<p>[バックアップしたボリューム] 選択ボックスに利用可能なボリュームが表示されている [バックアップしたボリュームを選択] ダイアログ</p>  <p>この場合、次の作業を行います</p> <ol style="list-style-type: none"> a. [バックアップしたボリューム] 選択ボックスで、ファイルの復元元とするボリュームを選択します。 b. [次へ] をクリックして、[ファイルの復元先の選択] ダイアログを表示します。 c. 手順 4 に進みます。
<p>選択した復元元デバイスでバックアップを実行していない</p>	<p>[バックアップしたボリューム] 選択ボックスに何も一覧表示されていない、[復元元ボリュームの選択] ダイアログ</p>  <p>バックアップボリュームを持たないデバイスからはファイルを復元することはできません。[ホーム] タブをクリックして 51 ページの手順 2 に戻り、復元するファイルが存在するデバイスを選択します。</p>

4. [ファイルの復元先の選択] ダイアログでは、次の操作を行います。

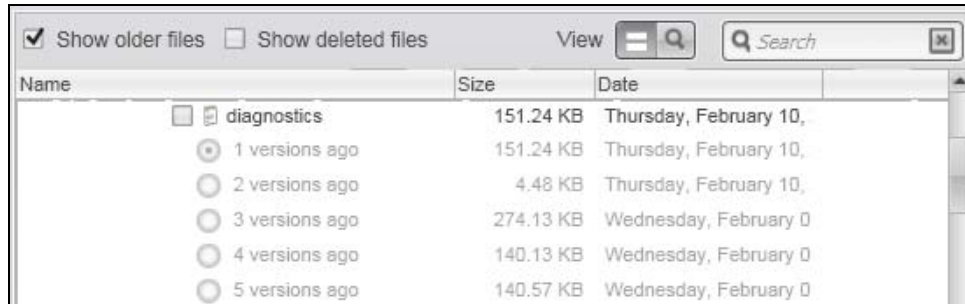
復元したファイルのコピー先 ...	選択 ... オプション
選択した復元先デバイス上の元の場所	<p>[元の場所]</p> <p>注：次を選択した場合、[元の場所] オプションは使用できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 51 ページの手順 1 で選択した、復元先デバイスとしての Dropbox クラウドサービス ■ 52 ページの手順 3 で選択した、別のバックアップ元デバイスからのバックアップボリューム
復元したコンテンツフォルダー	<p>[復元したコンテンツ] フォルダー</p> <p>デフォルトのフォルダーは、ユーザー名の [マイドキュメント] フォルダーにある [復元したコンテンツ] です。</p> <p>別のフォルダーを指定する場合は、次の作業を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. [参照] をクリックし、参照機能を使用して、新しいフォルダーを指定します。 b. [適用] をクリックします。

5. [次へ] をクリックして、[コンテンツの復元元の選択 ...] ダイアログを表示します。

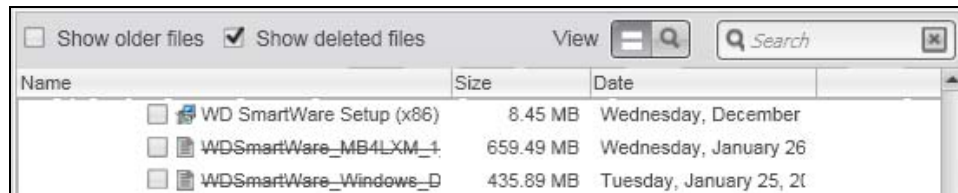
選択したバックアップボリュームからの復元対象 ... (選択したバックアップボリュームから)	選択 ...
すべてのファイル	[すべてのファイルの復元] オプションを選択し、55 ページの手順 7 に進みます。
選択したファイルまたはフォルダー	<p>[一部のファイルの復元] オプションを選択して、[一部のファイルの復元] 選択ボックスを開き、手順 6 に進みます。</p> 

6. [一部のファイルの復元] 選択ボックスで、フォルダー構成を検索して、ファイルを見つけます。ファイルやフォルダーの名前（または名前の一部）を入力して、[検索] ボックスを使用することもできます。

- **【古いファイルを表示】** チェックボックスをオンにして、ファイルの別のバックアップバージョンを表示することができます



- **【削除ファイルを表示】** チェックボックスをオンにして、削除したファイルのバックアップファイルを表示することができます。



- **【表示】** アイコンを選択して、個々のファイルの一覧を表示することができます
- ファイルを検索する場合は、[検索] ボックスにファイルやフォルダーの名前または名前の一部を入力し、Enter キーを押して、検索を行います。

検索条件を解消するには、[検索] ボックス内のテキストをすべて削除し、Enter キーを押します。

- 復元するファイルやフォルダーのチェックボックスを選択します。

7. **【復元の開始】** をクリックします。

8. 復元中の表示、および可能な作業は次のとおりです。

- **【復元】** 画面には、指定した復元場所にコピーされたデータ量を示す進捗バーとメッセージが表示されます。
- **【復元のキャンセル】** ボタンを使用すると、復元は停止します。

9. **【取得完了】** メッセージは、取得が完了したことを示します。

復元対象に選択したファイルの一部が指定した復元場所にコピーされなかった場合、[部分的復元完了] メッセージが表示されます。この場合、次のいずれかのメッセージが表示されます。

- **【ファイルは復元されませんでした】** メッセージには、復元されなかったファイルの数と、復元の失敗に関する情報を表示する画面へのリンクが表示されます。**【ファイルの表示】** リンクをクリックすると、復元されなかったファイルの一覧と理由が表示されます。
- 「復元先はいっぱいです」メッセージは、復元先デバイスには復元を完了するのに十分なディスク容量がないことを示しています。

ドライブの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックについて説明します。

- ドライブの健全性チェック
- ドライブ名の指定
- 本製品の登録
- WD SmartWare ソフトウェアとディスクイメージを復元する
- ドライブのスリープタイマーの設定
- バーチャル CD アイコンの表示または非表示
- WD Quick View アイコンの使用
 - ドライブステータスのチェック
 - アイコンアラートの監視
 - WD SmartWare の起動
 - ドライブの安全な接続解除

注： My Book と My Passport の場合、以前のドライブでは、この章で説明する WD SmartWare ソフトウェアのドライブ設定機能が使用できます。最近のドライブでは、これらの機能は WD Drive Utilities ソフトウェアが対応します。

ドライブの健全性チェック

WD SmartWare ソフトウェアにはいくつかの診断ツールが組み込まれており、サポート対象の WD 製ドライブを正常に機能させることができます。ドライブが正しく動作していないか心配する場合は、次のテストを実行してください。

■ 簡易 SMART ステータス

SMART は、ドライブの主な内部パフォーマンス属性を継続的にモニタリングする障害予測機能です。たとえば、ドライブ温度の上昇、ノイズまたは読み取り / 書き込みエラーなどの増加が検出されると、ドライブに深刻な障害が生じつつあることの目安になります。事前にアラートを把握することにより、実際に障害が発生する前にデータを別のドライブに移動するなどの予防措置をとることが可能になります。

簡易 SMART ステータスチェックの結果は、ドライブの状態が合格または不合格であるとして判定されます。

SMART ステータスチェックは 1 ~ 2 秒で完了します。

■ クイックドライブテスト

バックアップ先デバイスには、Data Lifeguard™ 診断ユーティリティが内蔵されており、ドライブのエラー状態をテストします。簡易ドライブテストでは、ドライブの性能に重要な問題がないかをテストします。

簡易ドライブテストの結果は、ドライブの状態が合格または不合格であるとして判定されます。

簡易ドライブテストが完了するまで、数分間かかる場合があります。

■ 完全ドライブテスト

最も総合的なドライブ診断は、完全ドライブテストです。各セクターのエラー状態を入念にテストし、必要に応じて不良セクターにマーカーを挿入します。

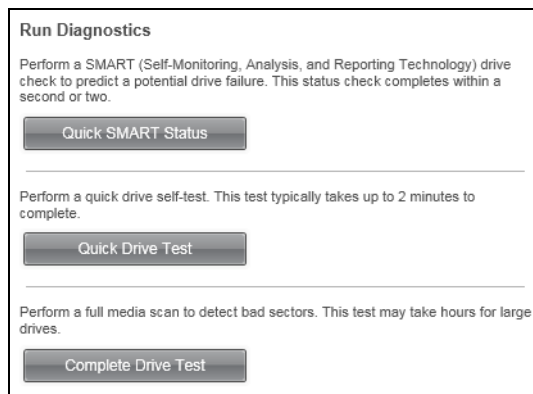
ドライブのサイズやデータ設定により、完全ドライブテストが完了するまで数時間かかる場合があります。

ドライブに問題が発生する前に、ドライブ診断とステータスチェックを定期的に行うことをお勧めします。また、非常に高速なため、簡易 SMART ステータスチェックと簡易ドライブテストは、最小限の負荷で高レベルの保証を実現することができます。また、ファイルの書き込みやアクセス時にディスクエラーが発生した場合は、必ず 3 つのテストをすべて実行してください。

1. コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、チェックするいずれかのデバイスのアイコンを選択します。
2. [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ドライブの設定] ボタンが備わった WD SmartWare の [設定] タブ画面の代わりに、[ソフトウェア設定] 画面が表示されている場合は、WD Drive Utilities ソフトウェアを使用して、選択したデバイスのドライブ診断とステータスチェックを実行する必要があります。

3. [ドライブ設定] 画面で、[診断] をクリックして、[診断の実行] ダイアログを表示します。



4. [診断を実行] ダイアログで、実行したいテストのボタンをクリックします。
 - 簡易 SMART ステータス
 - クイックドライブテスト
 - 完全ドライブテスト

ドライブの消去

注意！ ドライブを完全に消去すると、ドライブにあるすべてのデータが削除されます。ドライブを消去する前に、ドライブ上のどのデータも今後一切必要でないことを必ず確認してください。

注： ドライブを消去すると、WD SmartWare ソフトウェアだけでなく、サポートファイル、ユーティリティ、オンラインヘルプ、ユーザーマニュアルなどのファイルもすべて削除されます。ドライブを消去した後では、これらのファイルをダウンロードすることで、ドライブを元の構成に復元することができます。

WD SmartWare ソフトウェアは、サポート対象の WD 製ドライブを、ロックされているか否かにより、別の方法で消去します。

ドライブの状態 ..	目的 ..	参照 ..
ロックが解除されている	ドライブを消去する	58 ページの「ドライブ設定でのドライブ消去機能の使用」.
ロックされている	パスワードを忘れたまたは紛失したため、ドライブの消去が必要	59 ページの「無効なパスワードの 5 回の使用」.

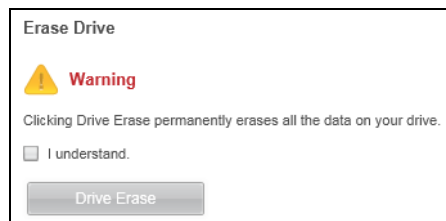
ドライブ設定でのドライブ消去機能の使用

ロックが解除されているサポート対象の WD 製ドライブを消去するには、次の作業を行います。

1. コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、消去するいずれかのデバイスのアイコンを選択します。
2. [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ドライブの設定] ボタンが備わった WD SmartWare の [設定] タブ画面の代わりに、[ソフトウェア設定] 画面が表示されている場合は、WD Drive Utilities ソフトウェアを使用して、選択したデバイスを消去する必要があります。

3. [ドライブ設定] 画面で、[ドライブ消去] をクリックして、[ドライブの消去] ダイアログを表示します。



4. [ドライブの消去] ダイアログで、次の操作を行います。
 - a. ドライブを消去するとデータを失うことに関する警告が表示されます。
 - b. [了解しました] チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを表明します。
 - c. [ドライブ消去] をクリックします。

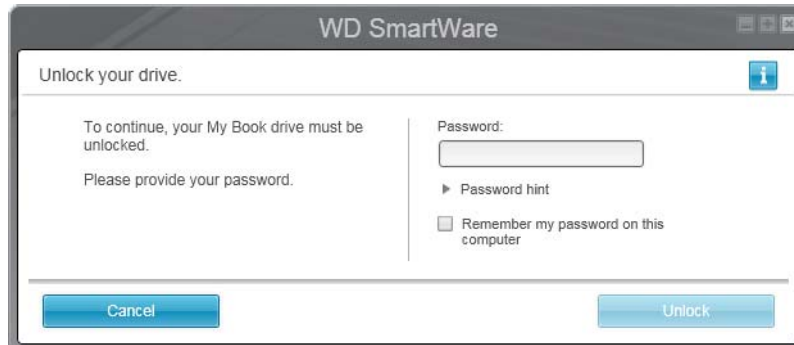
ドライブ消去の操作が完了したら、<http://support.wd.com> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID7 「ドライブにおける WD SmartWare ソフトウェアとディスクイメージのダウンロードと復元の詳細について」を参照してください。

注： ドライブを消去するとパスワードも削除されます。パスワードを使用してドライブを保護する場合は、WD SmartWare ソフトウェアとディスクイメージを復元した後に、パスワードをもう一度作成する必要があります。（37 ページの「パスワードによるドライブの保護」を参照してください）。

無効なパスワードの 5 回の使用

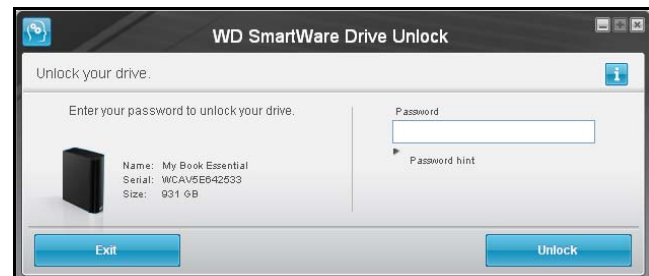
パスワードを忘れたまたは紛失している状態で、ロックされているサポート対象の WD 製ドライブを消去するには、次の作業を行います。

1. パスワード入力画面が表示されない場合は、以下のいずれかの操作を行います。
 - [ホーム] 画面で、「ドライブはロックされています」メッセージの上にあるドライブイメージをクリックして、[ドライブをロック解除します] ダイアログを表示します。



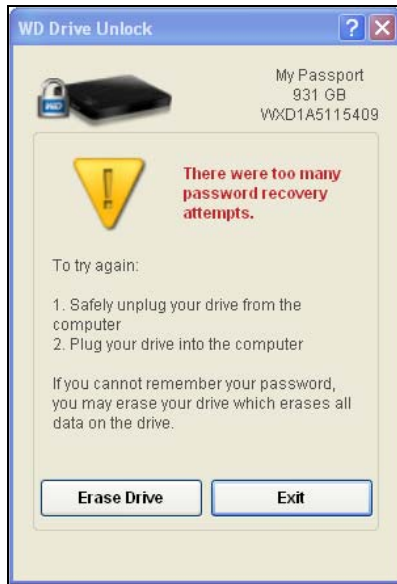
- 次のいずれかの方法で Drive Unlock Utility を起動します。
 - コンピューターのファイル管理ユーティリティを使用して、WD Unlocker バーチャル CD を開き、ロック解除のアプリケーションファイル（外付けドライブの種類とモデルにより、「Unlock.exe」または「WD Drive Unlock.exe」のいずれか）をダブルクリックします。
 - [スタート] > [マイコンピュータ] をクリックし、リムーバブルストレージのデバイスの下で、WD Unlocker バーチャル CD のアイコンをダブルクリックする

表示されるロック解除画面は、ドライブの種類とモデルにより異なります。



2. ドライブのロックを解除するには、以下の操作を 5 回実行します：
 - a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
 - b. [ロック解除] または [ドライブのロック解除] をクリックします。

- 無効なパスワードを 5 回入力すると、[パスワード試行回数が多すぎます] ダイアログが表示されます。



- ドライブ消去に伴うデータ損失に関する警告ダイアログが表示された場合、これを読み、[了解しました] チェックボックスを選択して、そのリスクを受け入れることを明示します。
- [ドライブ消去] または [ドライブの消去] をクリックします。

ドライブ消去の操作が完了したら、<http://support.wd.com> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID7「ドライブにおける WD SmartWare ソフトウェアとディスクイメージのダウンロードと復元の詳細について」を参照してください。

注： ドライブを消去するとパスワードも削除されます。パスワードを使用してドライブを保護する場合は、WD SmartWare ソフトウェアとディスクイメージを復元した後に、パスワードをもう一度作成する必要があります。(37 ページの「パスワードによるドライブの保護」を参照してください)。

ドライブ名の指定

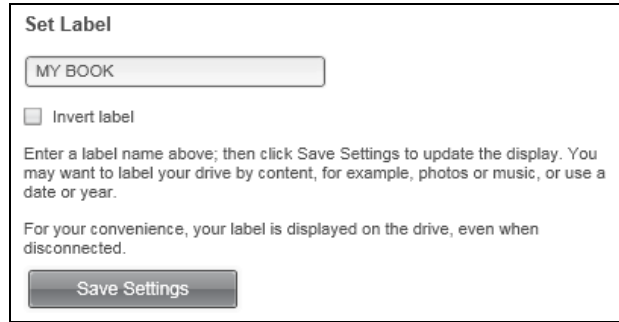
次のドライブにはラベルがカスタマイズできる構成もあり、これを使用してドライブに名前を付けることができます。

- My Book Elite
- My Book Studio
- My Passport Studio

指定した名前は、ドライブの電源をオフにしても、またはコンピューターとの接続を解除しても、そのままドライブに記憶されます。

- コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、名前を付けるいずれかのデバイスのアイコンを選択します。
- [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します (18 ページの図 4 を参照)。

3. [ドライブ設定] 画面で、[ラベル] をクリックして、[ラベルの設定] ダイアログを表示します。



The image shows a 'Set Label' dialog box. At the top, it says 'Set Label'. Below that is a text input field containing 'MY BOOK'. Underneath the input field is a checkbox labeled 'Invert label', which is currently unchecked. Below the checkbox is a paragraph of text: 'Enter a label name above; then click Save Settings to update the display. You may want to label your drive by content, for example, photos or music, or use a date or year.' Below this text is another paragraph: 'For your convenience, your label is displayed on the drive, even when disconnected.' At the bottom of the dialog is a 'Save Settings' button.

4. [ラベルの設定] ダイアログでは次の操作を行います。
 - a. [ラベル] ボックスにドライブ名を入力します。
 - b. [ラベルの反転] チェックボックスを選択または選択を解除して、ラベルの見栄え（明るい背景に暗いテキストかその反対）を指定します。
 - c. [設定の保存] をクリックします。

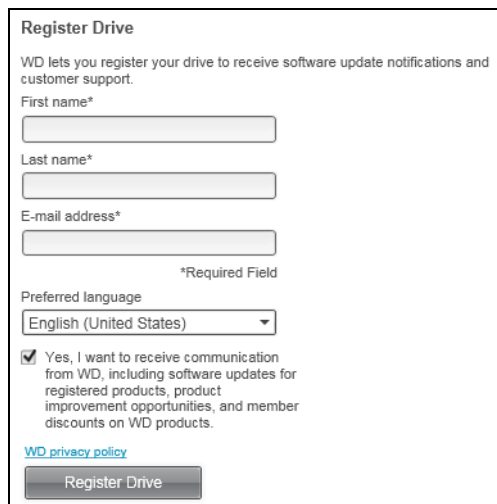
本製品の登録

WD SmartWare ソフトウェアは、コンピューターのインターネット接続を使用してサポート対象の WD 製ドライブを登録します。ドライブを登録すると、保証期間中には無料テクニカルサポートが利用でき、最新の WD 製品情報が入手できます。

1. コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。
2. コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、登録するいずれかのデバイスのアイコンを選択します。
3. [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ドライブの設定] ボタンが備わった WD SmartWare の [設定] タブ画面の代わりに、[ソフトウェア設定] 画面が表示されている場合は、WD Drive Utilities ソフトウェアを使用して、選択したデバイスを登録する必要があります。

4. [ドライブ設定] 画面で、[登録] をクリックして、[ドライブの登録] ダイアログを表示します。



The image shows a 'Register Drive' dialog box. At the top, it says 'Register Drive'. Below that is a paragraph: 'WD lets you register your drive to receive software update notifications and customer support.' Below this are three text input fields labeled 'First name*', 'Last name*', and 'E-mail address*'. Below the 'E-mail address*' field is a small note: '*Required Field'. Below that is a 'Preferred language' dropdown menu with 'English (United States)' selected. Below the dropdown is a checked checkbox with the text: 'Yes, I want to receive communication from WD, including software updates for registered products, product improvement opportunities, and member discounts on WD products.' Below the checkbox is a link: 'WD privacy policy'. At the bottom of the dialog is a 'Register Drive' button.

5. [ドライブの登録] ダイアログで、次の操作を行います。
 - a. [名] ボックスに名前を入力します。
 - b. [姓] ボックスに名字を入力します。
 - c. [電子メールアドレス] ボックスにメールアドレスを入力します。
 - d. [選択言語] のプルダウンから言語を選択します。
 - e. [はい、登録製品のソフトウェアアップデート ...] チェックボックスをオンまたはオフにして、ソフトウェアアップデート、高性能製品情報、割引価格などの案内を受け取るか設定することができます。
 - f. [ドライブの登録] をクリックします。

WD SmartWare ソフトウェアとディスクイメージを復元する

ドライブの消去または再フォーマットを行うと、すべてのデータが削除される以外にも、WD SmartWare ソフトウェア、サポートファイル、ユーティリティ、オンラインヘルプ、ユーザーマニュアルなどのファイルもすべて削除されます。

コンピューターで WD SmartWare ソフトウェアを削除したものの再インストールする必要がある場合、またはドライブを別のコンピューターに移動してそこでソフトウェアをインストールする必要がある場合は、WD SmartWare ソフトウェアとディスクイメージをドライブに復元する必要があります。この処理を行うために必要な操作については、ドライブ消去または再フォーマットの完了後、<http://support.wd.com> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID7 を参照してください。

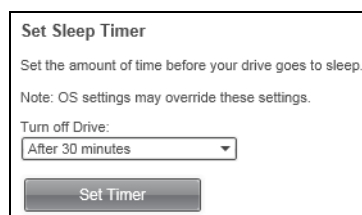
ドライブのスリープタイマーの設定

ドライブのスリープタイマーは、一定のアイドル時間が経過した後に、サポート対象の WD 製ドライブの電源をオフにして電力を節約し、長期にわたるドライブの摩耗を最小限に抑えます。

1. コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、設定するいずれかのデバイスのアイコンを選択します。
2. [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ドライブの設定] ボタンが備わった WD SmartWare の [設定] タブ画面の代わりに、[ソフトウェア設定] 画面が表示されている場合は、WD Drive Utilities ソフトウェアを使用して、選択したデバイスのスリープタイマーを設定する必要があります。

3. [ドライブ設定] 画面で、[スリープタイマー] をクリックして、[スリープタイマーの設定] ダイアログを表示します。



Set Sleep Timer

Set the amount of time before your drive goes to sleep.

Note: OS settings may override these settings.

Turn off Drive:

After 30 minutes

Set Timer

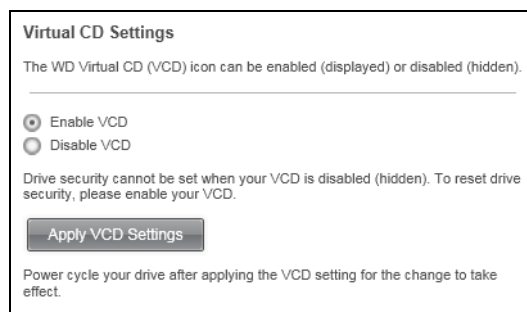
4. [スリープタイマーの設定] ダイアログで、次の操作を行います。
 - a. [ドライブの電源をオフにする] ボックスで、ドライブの電源をオフにするまでのアイドル時間の長さを選択します。
 - b. [タイマーの設定] をクリックします。

バーチャル CD アイコンの表示または非表示

一部の My Book ドライブと My Passport ドライブのハードウェア構成では、WD SmartWare ソフトウェアをバーチャル CD で提供していました。これらの各ドライブでは、コンピューターのファイル管理ユーティリティのリストにバーチャル CD アイコンを追加しています。[バーチャル CD 設定] ダイアログを使用することで、これらのドライブのバーチャル CD アイコンを有効（表示）または無効（非表示）にすることができます。

注： バーチャル CD アイコンを非表示にすると、そのドライブのパスワード保護も無効になります。VCD アイコンを無効（非表示）にすると、そのドライブを保護するパスワードが作成できなくなります。また、パスワードをすでに作成している場合、パスワード保護を解除するまでは、VCD アイコンを無効（非表示）にすることはできません（42 ページの「ドライブのロック機能の無効化」を参照）。

1. コンピューターにバックアップ先デバイスを複数接続している場合、[ホーム] 画面で、表示または非表示にするデバイスの VCD アイコンを選択します。
2. [設定] タブをクリックし、[ドライブの設定] をクリックして、[ドライブ設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。
3. [ドライブ設定] 画面で、[バーチャル CD] をクリックして、[バーチャル CD 設定] ダイアログを表示します。

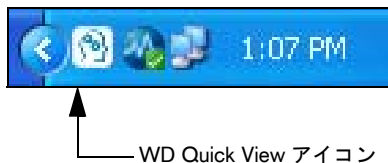


4. 次のオプションを選択します。
 - [VCD を有効にする]：バーチャル CD アイコンを表示する
 - [VCD を無効にする]：バーチャル CD アイコンを非表示にする
5. [VCD 設定の適用] をクリックして、選択を適用します。
6. 変更を有効にするには、ドライブの電源を入れ直す必要があります。
 - My Passport ドライブの場合：
 - a. ドライブから USB ケーブルを外します。
 - b. 10 秒間待ちます。
 - c. USB ケーブルをドライブに再接続します。

- My Book ドライブの場合：
 - a. ドライブから USB ケーブルを外します。
 - b. AC 電源アダプターケーブルを外すか、ドライブの電源ボタンを押してオフにします。
 - c. 10 秒間待ちます。
 - d. AC 電源アダプターケーブルを再接続するか、ドライブの電源ボタンを押してオンにします。
 - e. USB ケーブルをドライブに再接続します。
- 7. コンピューターのファイル管理ユーティリティのリストをチェックして、変更を確認します。

WD Quick View アイコンの使用

WD SmartWare ソフトウェアをインストールすると、WD Quick View アイコンが Windows タスクバーのシステムトレイに表示されます。



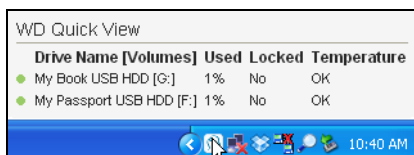
このアイコンを使用することで、次の作業を行うことができます。

- サポート対象の WD 製ドライブのステータスのチェック
- アイコンアラートの監視
- WD SmartWare ソフトウェアの起動
- サポート対象の WD 製ドライブの安全な接続解除

以下のセクションでは、アイコンの使用方法、および上記の作業を行う別の方法について説明します。

ドライブステータスのチェック

サポート対象の WD 製ドライブの場合、タスクバーで WD Quick View アイコン上にポインターを重ねると、ドライブの使用容量、ドライブの温度ステータス、ドライブのロック状態をチェックすることができます。



アイコンアラートの監視

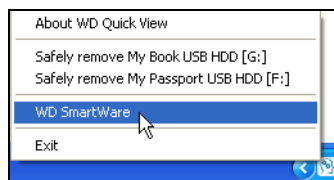
タスクバーで WD Quick View アイコンが点滅することにより、サポート対象の WD 製デバイスの次のステータスを知らせします。

WD Quick View アイコンの点滅状態 ...	想定されるデバイスのステータス ...
緑と白	デバイスはロックされているか、WD SmartWare ソフトウェアが対応していない形式でフォーマットされています (Windows 環境における非 Windows フォーマット)。
赤と白	<p>デバイスが過熱しています。</p> <p>デバイスの電源を切って、60 分間冷却してください。電源を再びオンにした後、状態が改善されない場合は、WD サポートにご連絡ください。</p>
ホワイト	RAID 対応デュアルドライブデバイスにデグレードした RAID 構成があります。
レッド	<p>RAID 対応デュアルドライブデバイスが次のいずれかの状態です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ デバイスが過熱しています。 デバイスの電源を切って、60 分間冷却してください。電源を再びオンにした後、状態が改善されない場合は、WD サポートにご連絡ください。 ■ その他の RAID エラー状態の場合：

WD SmartWare の起動

次により、WD SmartWare ソフトウェアを起動することができます。

- タスクバーの WD SmartWare アイコンを左または右クリックして、WD SmartWare を選択：



- 次の順にクリックします。

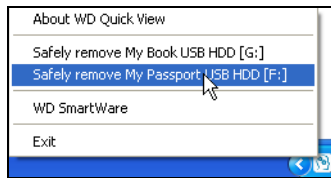
[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD SmartWare] > [WD SmartWare]

ドライブの安全な接続解除

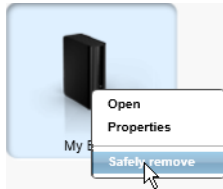
注意！ データの損失を防ぐため、ドライブをシャットダウンまたは接続を解除する前に、実行中のウィンドウとアプリケーションはすべて閉じてください。

次のいずれかの方法で、サポート対象の WD 製ドライブの接続を安全に解除することができます。

- タスクバーで WD Quick View アイコンを右クリックし、ドライブの **[安全な削除]** オプションをクリックします。



- [ホーム] 画面でドライブアイコンを右クリックし、**[安全な削除]** オプションをクリックします。



- My Book ドライブの背面にある電源ボタンを押します。

電源 / 動作 LED がの点滅が止まるまで待ち、その後にドライブの接続をコンピューターから解除します。

ソフトウェアの管理とカスタマイズ

この章では以下のトピックについて説明します。

- ソフトウェアの更新のチェック
- Dropbox アカウントの作成
- 別の復元フォルダーの指定
- WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール

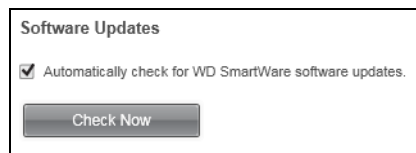
ソフトウェアの更新のチェック

[ソフトウェアの更新] オプションを有効にすると、ソフトウェアの更新が自動的にチェックされます。これにより、最新バージョンのソフトウェアを常に使用していることとなります。

1. [設定] タブをクリックし、[ソフトウェアの設定] をクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ホーム] 画面で選択したバックアップ先デバイスが、WD 製以外のデバイスまたは WD Security と WD Drive Utilities ソフトウェアに対応した WD 製ドライブの場合、[設定] タブをクリックすると、[ソフトウェア設定] 画面が表示されます。

2. [ソフトウェア設定] 画面で、[ソフトウェアの更新] をクリックして、[ソフトウェアの更新] ダイアログを表示します。



3. [ソフトウェアの更新] ダイアログで、[WD SmartWare ソフトウェアの更新を自動的にチェックする] チェックボックスを選択または選択を解除して、[ソフトウェアの更新] オプションを有効または無効にします。
4. ソフトウェアの更新をここでチェックする場合、[今すぐチェック] をクリックします。

Dropbox アカウントの作成

Dropbox をバックアップ元またはバックアップ先のデバイスとして使用できるようにするには、WD SmartWare Pro ソフトウェアにアップグレードし、ソフトウェアがアクセスする Dropbox アカウントを設定する必要があります。（32 ページの「WD SmartWare Pro ソフトウェアへのアップグレード」を参照してください）。その後、アカウントダイアログを使用して、アカウントを変更または再設定します。

1. [設定] タブをクリックし、[ソフトウェアの設定] をクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。
2. [ソフトウェア設定] 画面で、[Dropbox アカウント] をクリックして、[Dropbox アカウント] ダイアログを表示します。



3. **【アカウントの選択】** をクリックして、**【Dropbox ログインが必要】** ダイアログを表示します。



4. **【Dropbox ログインが必要】** ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. **【サインイン】** をクリックします。

WD SmartWare Pro ソフトウェアが Web ブラウザを使用して Dropbox の Web サイトにアクセスし、ユーザーの代わりに接続要求を行います。
 - b. ログイン認証情報を記録するようにアカウントを設定していない場合は、Dropbox の Web サイトで、メールアドレスとパスワードを入力し、**【サインイン】** をクリックして、WD SmartWare Pro ソフトウェアからの接続要求を確認します。
 - c. **【許可】** をクリックして接続要求を受け入れます。

「正常に終了しました！」が表示されます。これは、WD SmartWare Pro ソフトウェアに Dropbox アカウントへのアクセスが許可されたことを示しています。
 - d. **【完了】** をクリックして、接続を確定し、**【Dropbox ログインが必要】** ダイアログを閉じ、**【現在の Dropbox アカウント】** 画面を更新します。

注： Dropbox アカウントを、後で別のアカウントに変更する場合でも手順は同じです。この場合、WD SmartWare Pro ソフトウェアは、**【別の Dropbox アカウントへの切り替え】** ダイアログを表示します。このダイアログでは、Dropbox アカウントを変更すると、現在のアカウントを使用してバックアップ元またはバックアップ先のデバイスとして設定していたバックアップが無効になることが示されます。

別の復元フォルダーの指定

復元を開始するときに、復元したファイルを次のどちらに保存するかを選択できます。

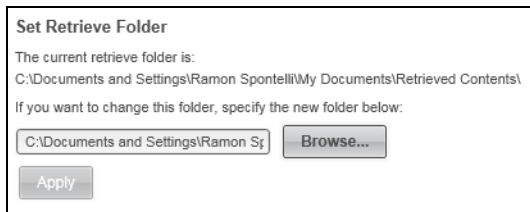
- バックアップ元デバイス上の元の場所
- 復元したコンテンツフォルダー

WD SmartWare ソフトウェアのデフォルト設定では、**【マイドキュメント】** フォルダーに**【復元したコンテンツ】** サブフォルダーを作成して使用します。

1. 新しいフォルダーを作成するか、使用する既存のフォルダーを決めます。
2. **【設定】** タブをクリックし、**【ソフトウェアの設定】** をクリックして、**【ソフトウェア設定】** 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： **【ホーム】** 画面で選択したバックアップ先デバイスが、WD 製以外のデバイスまたは WD Security と WD Drive Utilities ソフトウェアに対応した WD 製ドライブの場合、**【設定】** タブをクリックすると、**【ソフトウェア設定】** 画面が表示されます。

3. [ソフトウェア設定] 画面で、[復元フォルダー] をクリックして、[復元フォルダーの設定] ダイアログを表示します。



4. [復元フォルダーの設定] ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. [参照] をクリックし、参照機能を使って新しい復元フォルダーを指定します。
 - b. [適用] をクリックします。

バックアップバージョンの数の指定

WD SmartWare ソフトウェアでは、ファイルごとに最大 25 の以前のバージョンを保持しておくことができます。誤ってファイルを上書きしたり削除した場合、または数バージョン前のファイルを見る場合でも、WD SmartWare ソフトウェアがコピーを保持しています。ファイルごとに指定した数の最新のバージョンがいつでも復元可能です。1 から 25 までを選択してその数のバージョンを保持しておくことができます。

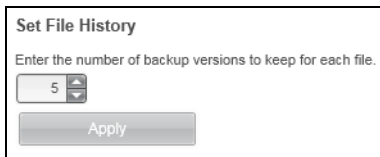
より多くのバージョンを保持しておくこと、

- より以前に遡ってファイルを復元できます。
- より多くのディスクスペースを使用します。

1. [設定] タブをクリックし、[ソフトウェアの設定] をクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します（18 ページの図 4 を参照）。

注： [ホーム] 画面で選択したバックアップ先デバイスが、WD 製以外のデバイスまたは WD Security と WD Drive Utilities ソフトウェアに対応した WD 製ドライブの場合、[設定] タブをクリックすると、[ソフトウェア設定] 画面が表示されます。

2. [ソフトウェア設定] 画面で、[ファイルの履歴] をクリックして、[ファイルの履歴の設定] ダイアログを表示します。



3. [ファイルの履歴の設定] ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. 選択ボックスを使用して、ファイルごとに保持しておくバックアップバージョンの数（1 ～ 25）を指定します。
 - b. [適用] をクリックします。

WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール

重要：WD SmartWare をアンインストールすると、既存のバックアップジョブ構成がすべて削除されます。ソフトウェアの再インストール後に、バックアップジョブを手動で再起動する必要があります。(44 ページの「ファイルのバックアップ」を参照してください)。

WD SmartWare ソフトウェアを、デバイスまたはセットアップ CD にあったセットアップファイルを使用してインストールしていた場合は、ここで説明する手順ではなく、デバイスのユーザーマニュアルに記載されたソフトウェアのアンインストール手順に従ってください。

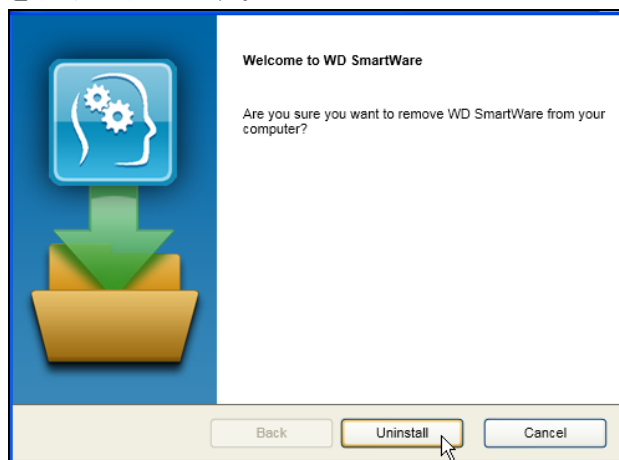
WD SmartWare ソフトウェアをアンインストールするには、オペレーティングシステムの [プログラムの追加と削除] 機能と WD SmartWare のセットアップ / インストーラーウィザードを使用します。

Windows Vista または Windows 7 コンピューターの場合：

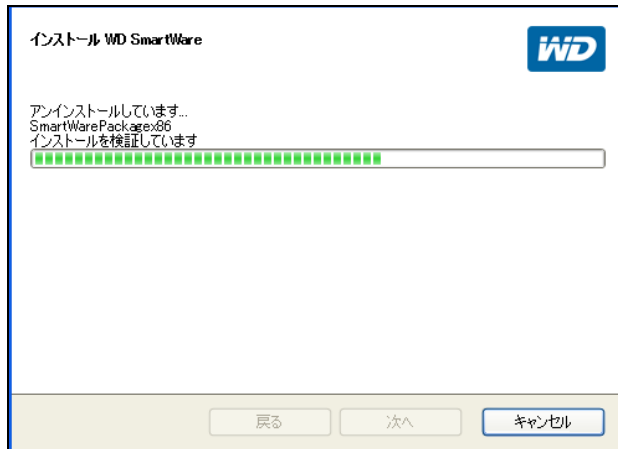
1. [スタート] > [コントロール パネル] の順にクリックします。
2. [プログラムと機能] をダブルクリックします。
3. [WD SmartWare インストーラー] または WD SmartWare インストーラーのアイコンをクリックし、画面の上部で [アンインストール / 変更] をクリックします。

注：Windows の [プログラムの追加と削除] ダイアログで [WD SmartWare] を選択しないでください。このダイアログからソフトウェアをインストールした場合は、WD SmartWare インストーラー / セットアップウィザードを使用して、ソフトウェアをアンインストールしてください。

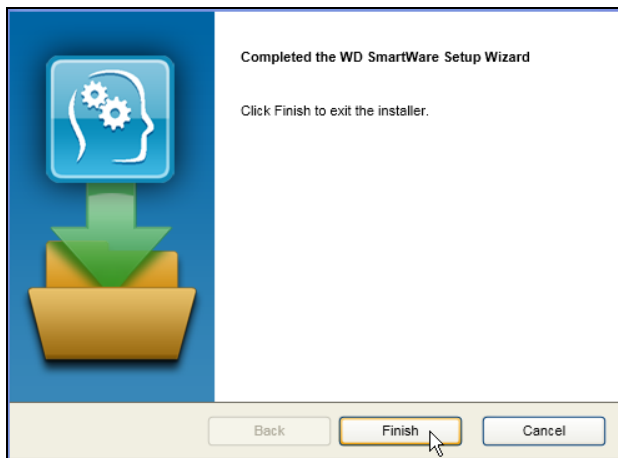
4. WDSmartWare のインストーラー / セットアップウィザードで、[アンインストール] をクリックします。



5. アンインストールの完了を待ちます。



6. [完了] をクリックして、WDSmartWare のインストーラー / セットアップウィザードを閉じます。



Windows 8 コンピューターの場合 :

1. メトロスタート画面で、[WDSmartWare インストーラー] タイルを右クリックします。

注 : メトロスタート画面では、[WD SmartWare] は選択しないでください。このダイアログからソフトウェアをインストールした場合は、WD SmartWare インストーラー / セットアップウィザードを使用して、ソフトウェアをアンインストールしてください。

2. Windows のタスクバーで、[アンインストール] を選択します。
3. 70 ページの「Windows Vista または Windows 7 コンピューターの場合 : 」の手順 4 から手順 6 を繰り返します。

A

規制遵守情報

GNU 一般公衆利用許諾契約書 (GPL)

本ソフトウェアには、Western Digital のエンドユーザー使用許諾契約ではなく、GPL または劣等一般公衆利用許諾契約書 (「LGPL」) (総称して「GPL ソフトウェア」) で許諾されたサードパーティ著作権付きソフトウェアが含まれている場合があります。GPL に従い、該当する場合：1) GPL ソフトウェアのソースコードは、<http://support.wd.com/download/gpl> から無料でダウンロードできます。または、<http://support.wd.com/download/gpl> から、あるいは購入された日から3年以内にカスタマーサポートに連絡することによってCDを通常価格で入手可能です。2) GPL ソフトウェアは再使用、再頒布および、改変が可能です。3) GPL ソフトウェアに関しては、適用される法律によって許容される範囲となり、保証はありません。また、4) GPL のコピーは、<http://www.gnu.org>、および <http://support.wd.com/download/gpl> から入手できる場合もあります。

オープンソースソフトウェアを含むがこれに限定されないソフトウェアの変更または改ざんは、お客様の自己責任となります。Western Digital は、いかなる変更あるいは改ざんに関して一切の責任を負いません。Western Digital は、Western Digital が提供したソフトウェアを変更、または変更を試みた場合、製品のサポートを行わないものとします。

インデックス

Symbols

[Dropbox ログインが必要] ダイアログ
Dropbox ログインガヒツヨウダイアログ
68

[WD SmartWare Pro バージョンへのアップグレード] ダイアログ 32

[WD SmartWare Pro へのアップグレード] ダイアログ WD SmartWare Pro へのアップグレードダイアログ 34

[カテゴリバックアップ] 画面カテゴリバックアップガメン、初期ショキ 29

[カテゴリバックアップに切り替える] ボタンカテゴリバックアップニキリカエルボタン 12

[すべてのファイルの復元] オプションスベテノファイルノフクゲンオプション 54

[スリープタイマー] ボタン 19

[スリープタイマーの設定] ダイアログスリープタイマーノセッテイダイアログ 62

[セキュリティ] ボタン 19

[セキュリティの設定] ダイアログセキュリティノセッテイダイアログ 38

[ソフトウェアの設定] ボタンソフトウェアノセッテイボタン 19

[ソフトウェア設定] 画面 18

[ドライブの消去] ダイアログドライブノショウキョダイアログ 58

[ドライブの登録] ダイアログドライブノトウロクダイアログ 61

[ドライブの設定] ボタンドライブノセッテイボタン 19

[ドライブは保護されています] ダイアログドライブハホゴサレテイマスダイアログ 42, 43

[ドライブをロック解除します] ダイアログドライブヲロックカイジョシマスダイアログ 40, 59

[ドライブ消去] ボタンドライブショウキョボタン、[設定] タブ画面セッテイタブガメン 19

[バーチャル CD] ボタン 20

[バックアップ] タブ画面バックアップタブガメン

- カテゴリ / ファイルバックアップへの切り替えトグルボタンカテゴリ / ファイルバックアップヘノキリカエトグルボタン 14
- バックアップの開始 / 停止トグルボタンバックアップノカイシ / テイシトグルボタン 14

バックアップ元コンテンツページバックアップ元コンテンツページ 14

バックアップ詳細表示領域バックアップショウサイヒョウジリョウウイキ 13

今すぐバックアップボタンイマズグバックアップボタン 14

機能概要キノウガイヨウ 3

説明セツメイ 4

[バックアップデバイスの選択] 画面バックアップデバイスノセンタクガメン 24

[バックアッププランの選択] 画面バックアッププランノセンタクガメン 26

[バックアップ頻度の設定] 画面バックアップヒンドノセッテイガメン 45

[バックアップ頻度の選択] 画面バックアップヒンドノセンタクガメン 27

[ファイルの履歴] ボタンファイルノリレキボタン 19

[ファイルの履歴の設定] ダイアログファイルノリレキノセッテイダイアログ 70

[ファイルの復元先の選択] ダイアログ 52

[ファイルバックアップ] 画面ファイルバックアップガメン、初期ショキ 29

[ファイルバックアップに切り替える] ボタンファイルバックアップニキリカエルボタン 12

[ヘルプ] タブ画面ヘルプタブガメン 20

[ヘルプ] タブ画面ヘルプタブガメン

- [ラーニングセンタートピック] ボタンラーニングセンタートピックボタン 20, 21

WDストアリンクWDストアリンク 20, 21

オンラインユーザーマニュアルリンク
オンラインユーザーマニュアルリンク 20, 21

お問い合わせ先リンクオトイアワセサキリンク 20, 21

サポートリンクサポートリンク 20, 21

機能概要キノウガイヨウ 4

説明セツメイ 20

[ホーム] タブ画面ホームタブガメン

コンピューターのコンテンツページコンピューターノコンテンツページ 7

ドライブアイコンドライブアイコン 9

バックアップ元コンピューターアイコンバックアップモトコンピューターアイコン 6

バックアップ先コンテンツページバックアップ先コンテンツページ

- クアッパサキコンテンツゲージ 8
- 機能概要キノウガイヨウ 3
- 説明セツメイ 4
- [ラーニングセンタートピック] ボタン
- ラーニングセンタートピックボタン 20, 21
- [ラベル] ボタン 19
- [ラベルの設定] ダイアログラベルノセッテイダイアログ 61
- [一部のファイルの復元] オプションイチブノファイルノフクゲンオプション 54
- [一部のファイルの復元] 選択ボックスイチブノファイルノフクゲンセンタクボックス 16
- [元の場所] オプションモトノバシヨオプション 54
- [削除ファイルを表示] チェックボックスサクジョファイルヲヒヨウジチェックボックス 55
- [古いファイルを表示] チェックボックスフルイファイルヲヒヨウジチェックボックス 55
- [安全な削除] オプションアンゼンナサクジョオプション 66
- [復元] タブ画面フクゲンタブガメン
 - [一部のファイルの復元] 選択ボックスイチブノファイルノフクゲンセンタクボックス 16
 - バックアップボリューム選択ボックス
 - バックアップボリュームセンタクボックス 16
 - 参照ボタンサンショウボタン 16
 - 復元の開始 / キャンセルトグルボタン
 - フクゲンノカイシキャンセルトグルボタン 16
 - 復元ファイルオプションボタンフクゲンファイルオプションボタン 16
 - 復元フォルダーボックスの変更フクゲンフォルダーボックスノヘンコウ 16
 - 復元先オプションボタンフクゲンサキオプションボタン 16
- 機能概要キノウガイヨウ 3
- 説明セツメイ 15
- [復元したコンテンツフォルダー] オプションフクゲンシタコンテンツフォルダーオプション 54
- [復元フォルダー] ボタンフクゲンフォルダーボタン 19
- [復元フォルダーの設定] ダイアログフクゲンフォルダーノセッテイダイアログ 69
- [復元ボリュームの選択] ダイアログ 53
- [登録] ボタン 19
- [表示] アイコンヒヨウジアイコン 55
- [設定] タブ画面セッテイタブガメン 19
- [設定] タブ画面セッテイタブガメン
 - [Dropbox アカウント] ボタン Dropbox アカウントボタン 19
 - [設定] タブ画面セッテイタブガメン
 - [スリープタイマー] ボタン 19
 - [セキュリティ] ボタン 19
 - [設定] タブ画面セッテイタブガメン
 - [ソフトウェアの更新] ボタンソフトウェアノコウシンボタン 19
 - [ソフトウェアの設定] ボタンソフトウェアノセッテイボタン 19
 - [ドライブの設定] ボタンドライブノセッテイボタン 19
 - [設定] タブ画面セッテイタブガメン
 - [ドライブ消去] ボタン 19
 - [設定] タブ画面セッテイタブガメン
 - [ファイルの履歴設定] ボタンファイルノリレキセッテイボタン 19
 - [復元フォルダー] ボタンフクゲンフォルダーボタン 19
 - [設定] タブ画面セッテイタブガメン
 - [登録] ボタン 19
- [設定] タブ画面セッテイタブガメン
 - 機能概要キノウガイヨウ 4
 - 説明セツメイ 17
- 「ドライブはロックされています」メッセージドライブハロックサレテイマスメッセージ 40
- 「ファイルは復元されませんでした」メッセージファイルハフクゲンサレマセンデシタメッセージ 55
- 「復元先はいっぱいです」メッセージフクゲンサクハイッパイデスメッセージ 55
- 「復元完了」メッセージフクゲンカンリヨウメッセージ 55
- D
- Dropbox アカウント Dropbox アカウントダイアログダイアログ 68
- ボタンボタン 19, 68
- G
- GNU general public licenseGNU イッパンコウシュウリヨウキョダクケイヤクシヨ 73
- GPL ソフトウェア 73
- N
- NTFS フォーマット NTFS フォーマット 2

S

SMARTステータスチェック SMARTステータスチェック 56

Software、GPLSoftware、GPL 73

W

WD Drive Unlock Utility 画面 WD Drive Unlock Utility ガメン 41, 59

WD Quick View アイコン 23, 64

WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードの購入 WD SmartWare Pro ソフトウェアのアップグレードのコミュニティ 33, 35

WD SmartWare Pro のアクティブ化 WD SmartWare Pro ノアクティブ化 33, 36

WD SmartWare Pro へのアップグレードボタン WD SmartWare Pro へのアップグレードボタン 11, 14, 17, 19, 21

WD SmartWare インストーラー WD SmartWare インストーラー

セットアップウィザードセットアップウィザード 22, 24, 71

プログラムファイルプログラムファイル 22

WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール WD SmartWare ソフトウェアのアンインストール

Windows 8 コンピューター Windows 8 コンピューター 72

Windows Vista または Windows 7 コンピューター Windows Vista または Windows 7 コンピューター 70

WD SmartWare ソフトウェアのロゴ WD SmartWare ソフトウェアのロゴ 24

WD SmartWare ソフトウェアの起動 WDSmartWare ソフトウェアの起動 65

WD ストアリンク WD ストアリンク 21

WD ストアリンク WD ストアリンク、[ヘルプ] タブ画面ヘルプタブガメン 20

Z

アイコンアイコン

Dropbox Dropbox 6

コンピューターコンピューター 6

デバイスロックデバイスロック 10

書き込み可能パーティションなしカキコミカノウパーティションなし 10

無料お試しかウントダウンリョウオタメシカウントダウン 10

アイコンの点滅アラートアイコンのテンメツアラート 65

アクティベーションコード必須アイコン
アクティベーションコードヒッスアイコン 6

アラートアラート、アイコンの点滅アイコンのテンメツ 65

エンドユーザー使用許諾契約 23

オペレーティングシステムとの互換性オペレーティングシステムとの互換性 1
オペレーティングシステムの要件オペレーティングシステムノヨウケン 1

オンラインユーザーマニュアルリンク
オンラインユーザーマニュアルリンク 20, 21

お問い合わせ先リンクオトイアワセサキ
リンク 20, 21

カテゴリ/ファイルバックアップトグル
ボタンカテゴリ/ファイルバックアップ
トグルボタン 12

カテゴリ/ファイルバックアップへの切り
替えトグルボタンカテゴリ/ファイル
バックアップへの切り替えトグルボタン 14

クラウドサービスアカウントクラウド
サービスアカウント、設定セッテイ 67

コンテンツゲージコンテンツゲージ

コンピューターコンピューター 7

バックアップ元バックアップモト 5,
12, 14

バックアップ先バックアップサキ 5, 8,
12

コンピューターアイコンコンピューター
アイコン 5

コンピューターオプションコンピューター
オプション、バックアップ元セレクト
ターバックアップモトセレクトター 25, 44,
51

コンピューターコンピューター

コンテンツゲージコンテンツゲージ、
[ホーム] タブ画面ホームタブ
ガメン 7

サポートリンクサポートリンク 21

サポートリンクサポートリンク

[ヘルプ] タブ画面ヘルプタブガメン
20

システムの互換性システムノゴカンセイ 1
システムファイルカテゴリシステム
ファイルカテゴリ、定義済みテイギズミ 7

スクロールポインタースクロールポ
インター、デバイス表示デバイスヒョウジ 10
ステータスチェックステータスチェック
64

セレクトターセレクトター

バックアップ元バックアップモト 5

- バックアップ先バックアップサキ 10
- ソフトウェアディスクイメージを復元するソフトウェアディスクイメージフォルダ
ゲンスル 62
- ソフトウェアの更新ソフトウェアノコウ
シン
- ボタンボタン 19
- ソフトウェアの更新ダイアログソフト
ウェアノコウシンダイアログ 67
- ソフトウェア設定ソフトウェアセッテイ
クラウドサービスアカウントクラウド
サービスアカウント、設定セッ
テイ 67
- ファイルの履歴ファイルノリレキ 69
- 復元フォルダフクゲンフォルダ
69
- ディスクイメージディスクイメージ、ダウ
ンロードするダウンロードスル、復元する
フクゲンスル 62
- デバイスセクターデバイスセクター
バックアップ元バックアップモト 5
- バックアップ先バックアップサキ 10
- デバイスロックアイコンデバイスロック
アイコン 10
- デバイス表示スクロールポインターデバ
イスヒョウジスクロールポインター 10
- トグルボタントグルボタン
- カテゴリ / ファイルバックアップカテ
ゴリ / ファイルバックアップ 12
- バックアップの有効化 / 無効化バック
アップノユウコウカ / ムコウカ
12
- トグルボタントグルボタン
- 復元の開始 / キャンセル 15
- ドライブドライブ
- PCからの接続解除PCカラノセツゾク
カイジョ 65
- アイコンアイコン、[ホーム] タブ画面
ホームタブガメン 9
- ステータスチェックステータスチェッ
ク 64
- スリープタイマースリープタイマー
62
- 診断とステータスチェックシンダント
ステータスチェック 56
- ドライブのユーザー登録ドライブノトウ
ロク 61
- ドライブのロック解除ドライブノロック
カイジョ
- WD SmartWare による WD SmartWare
ニヨル 40
- バーチャル CD からバーチャル CD カ
ラ 40, 65
- ドライブの接続解除ドライブノセツゾク
カイジョ 65
- ドライブの消去ドライブノショウキヨ 57
- ドライブ設定ドライブセッテイ
スリープタイマー
スリープタイマー
62
- ドライブ消去ドライブショウキヨ 57
- 画面ガメン 18
- 画面ガメン、初期シヨキ 30
- 登録トウロク 61
- バーチャル CD
- アイコンアイコン、表示と非表示ヒョ
ウジトヒヒョウジ 63
- バーチャル CD 設定ダイアログバーチャル
CD セッテイダイアログ 63
- パスワード
- 削除サクジョ 42
- 変更ヘンコウ 41
- パスワードによるドライブの保護パス
ワードニヨルドライブノホゴ 37
- パスワードによるドライブの保護パス
ワードニヨルドライブノホゴ
- パスワードの紛失についての注意パス
ワードノフンシツニツイテノ
チュウイ 37
- パスワードの作成パスワードノサクセイ
37
- パスワードの変更 41
- パスワード保護の解除 42
- バックアップ
- ファイルコンテンツボックスファイル
コンテンツボックス 47, 49
- ファイルのバックアップについてファ
イルノバックアップニツイテ
44
- 予定通知ボタンヨテイツウチボタン
14, 46
- 手順テジュン 44
- バックアップの有効化 / 無効化トグルボタ
ンバックアップノユウコウカ / ムコウカト
グルボタン 12
- バックアップの無効化ボタンバックアッ
プノムコウカボタン 12
- バックアップの開始 / 停止トグルボタ
ンバックアップノカイシ / テイシトグルボタ
ン 14
- バックアップボリューム選択ボックス
バックアップボリュームセンタクボック
ス 15, 16, 53
- バックアップ元バックアップモト
Dropbox アイコン
Dropbox アイコン 6

- コンテンツゲージコンテンツゲージ 5, 12, 14
- コンピューターアイコンコンピューターアイコン 5, 6
- セレクターセレクター 5, 8
- デバイスセレクターデバイスセレクター 5, 7
- バックアップ先バックアップサキ
 - コンテンツゲージコンテンツゲージ 5, 8, 12
 - デバイスアイコンデバイスアイコン 5
 - デバイスセレクターデバイスセレクター 10
- バックアップ詳細表示領域 12, 13
- バックアップ頻度の設定ボタンバックアップヒンドノセッテイボタン 14
- 今すぐバックアップボタンイマスグバックアップボタン 14
- 参照ボタンサンショウボタン、[復元] タブ画面フクゲンタブガメン 16
- 完全ドライブテスト 56
- 復元キャンセルボタンフクゲンキャンセルボタン 15
- 復元の開始 / キャンセルトグルボタンフクゲンノカイシキャンセルトグルボタン 15, 16
- 復元ファイルオプションボタンフクゲンファイルオプションボタン 15, 16
- 復元フォルダーの変更フクゲンフォルダーノヘンコウ
 - ボックスボックス 15
 - 参照ボタンサンショウボタン 15
- 復元フォルダーボックスの変更フクゲンフォルダーボックスノヘンコウ 16
- 復元フクゲン
 - ファイルの復元についてファイルノフクゲンニツイテ 51
 - フォルダーフォルダー、指定シテイ 69
 - 手順テジュン 51
- 復元先オプションボタンフクゲンサキオプションボタン 15, 16
- 復元開始ボタンフクゲンカイシボタン 15
- 書き込み可能パーティションなしアイコンカキコミカノウパーティションナシアアイコン 10
- 注意チュウイ
 - ドライブの消去についてドライブノショウキヨニツイテ 57
 - パスワードの紛失についてパスワードノフンシツニツイテ 37
 - ロック解除されたドライブについてロックカイジョサレタドライブ
- ブニツイテ 38
- 接続解除の際のデータの損失についてセツゾクカイジョノサイノデエタノソンシツニツイテ 65
- 温度のチェックオンドノチェック 64
- 無料お試しカウントダウンアイコンムリョウオタメシカウントダウンアイコン 10
- 無料お試しムリョウオタメシ、WD SmartWare ProWD SmartWare Pro 33
- 空き領域アキリョウイキ 64
- 要件ヨウケン、オペレーティングシステムオペレーティングシステム 1
- 規制遵守情報 73
- 診断の実行ダイアログシンダンノジッコウダイアログ 57

WDによって提供された情報は正確で信頼できるものと考えておりますが、その使用、あるいはその使用に起因した特許または第三者のその他の権利の侵害に関して WD は一切責任を負いません。WDの特許または特許権のもとで、黙示的またはその他の方法でライセンスが許可されることはありません。WDは仕様を予告なく変更する権利を有します。

Western Digital、WD、WD のロゴ、My Book、My Passport は、米国およびその他の国における Western Digital Technologies, Inc. の登録商標です。WD SmartWare、WD Drive Utilities、WD Security、および Data Lifeguard は、米国およびその他の国における Western Digital Technologies, Inc. の商標です。Apple、Mac、OS X、および Time Machine は、米国および他の国における Apple, Inc. の登録商標です。本書に記載されている他のマークはその他の企業に属する場合があります。写真は、実際の製品と異なる場合があります。

© 2014 Western Digital Technologies, Inc. All rights reserved.

Western Digital
3355 Michelson Drive, Suite 100
Irvine, California 92612 U.S.A.

4779-705057-R04 2014 年 7 月